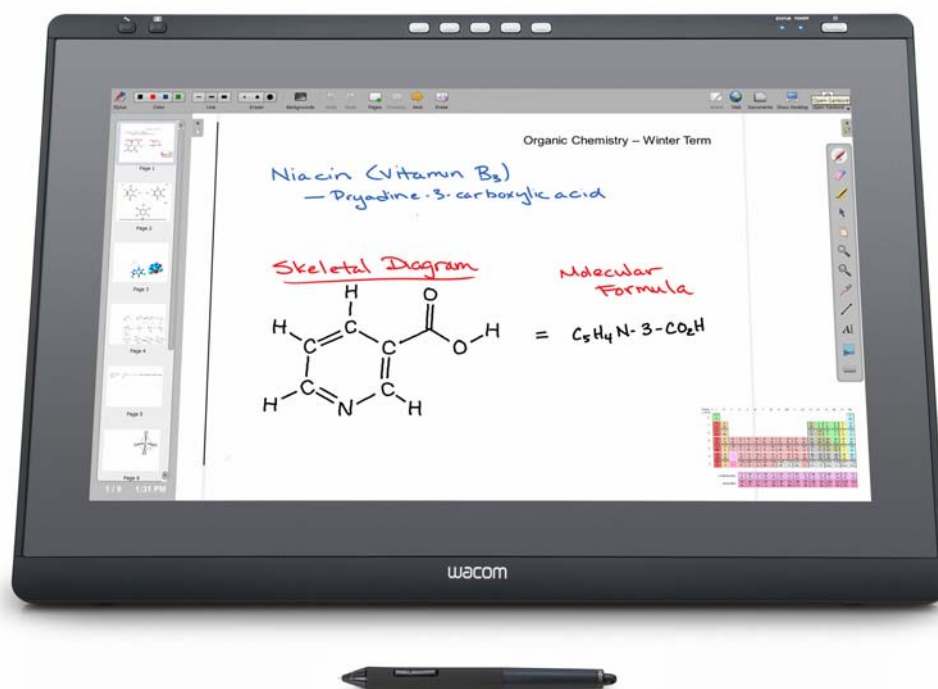




液晶ペンタブレット

DTK-2241 DTH-2242

ユーザーズガイド



[本機の使い方](#)

[本機の機能](#)

[本機のセットアップ](#)

[本機を使用する](#)

[電子ペンの使い方](#)

[DTH-2242 のマルチタッチ機能を使う](#)

[本機をカスタマイズする](#)

[トラブルシューティング](#)

[テクニカルサポート](#)





製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書、納品書、レシート（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書、納品書、レシートの添付もない場合は、保証書が無効になります。

また、本製品の保証は日本国内においてのみ有効です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

液晶ペンタブレットユーザズガイド

Version 1.0, Rev C0413

© 2013 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





目次

本書について	4	電子ペンのカスタマイズ	41
本書の使い方	5	ペン先の感触とダブルクリックの調整	41
本機の使い方	6	ペン先の筆圧の詳細設定	42
安全上のご注意	6	サイドスイッチのカスタマイズ	43
本機の機能	7	ファンクションキーをカスタマイズする	44
本体正面	7	ラジアルメニューの使い方と設定	45
本体裏面	8	ボタン機能	46
本機の角度を調整する	9	マッピング画面切り替えを使う	50
電子ペンの機能	10	特定のソフトウェアに対する設定	51
ペンホルダーとペン紛失防止ケーブル	10	特定のソフトウェアに対する設定を作成する	52
本機のセットアップ	11	特定のソフトウェアに対する設定を変更する	53
システム要件	11	特定のソフトウェアに対する設定を削除する	53
ステップ1：ディスプレイのセットアップ	12	トラブルシューティング	54
接続図	13	本機のテスト	55
ステップ2：ペンタブレットのセットアップ	16	電子ペンのテスト	56
USB ケーブルの取り付け	16	ディスプレイのトラブルシューティング情報	57
タブレットドライバのインストール	17	ディスプレイの一般の問題	57
本機を使用する	18	アナログ RGB 接続の問題	59
姿勢と作業環境を整える	18	タブレットのトラブルシューティング情報	60
電子ペンの使い方	19	一般的な問題	60
電子ペンを手に持つ	19	マルチタッチの問題	63
ポインタの位置決め	19	Windows での問題	64
クリック	20	Macintosh での問題	65
ダブルクリック	20	テクニカルサポート	67
ドラッグ	20	ドライバのダウンロード	68
サイドスイッチを使う	21	付録	69
筆圧を使って描画する	21	本機のお手入れ	69
ファンクションキーを使う	21	ペン先を交換する	70
マルチディスプレイ環境で使う	22	マウントアームに取り付けて使う	71
画面を調整する	22	タブレットドライバのアンインストール	72
画面の調整	23	タブレット設定ファイルの管理	73
DTH-2242 のマルチタッチ機能を使う	25	複数タブレットの設置	74
マルチタッチによる操作	25	Windows でのペンおよびデジタルインク機能	75
マルチタッチのカスタマイズ	32	Windows Tablet PC 入力パネルについて	76
マルチタッチオプションを設定する	33	製品情報	77
ジェスチャーの標準設定	34	製品仕様	77
ジェスチャーの個人設定	35	ライセンス/保証	77
マルチタッチのテスト	35	オプション品の注文	77
マルチタッチ入力を無効にする	36	用語	78
省電力機能	36	索引	80
本機をカスタマイズする	37	お問い合わせ / 修理依頼票	82
コントロールパネルを開く	37	Wacom international offices	83
コントロールパネルの概要	38		
ペン先の位置調整	40		





本書について

本書は、液晶ペンタブレット（以後、「本機」と呼びます）の使い方や機能について説明しています。本書に記載されている情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り Windows の画面を例にして説明しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「 」で囲んで表示しています。
- ユーザーズガイドを拡大表示するには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータ、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルをお読みください。
- タブレット機能（筆圧機能など）は、多くのソフトウェアでサポートされています。機能をサポートするソフトウェアについてはワコムホームページをご覧ください。
- 特定のソフトウェアでタブレットの機能を最大限に活用する方法に関する情報は、そのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

タブレットドライバおよび本機の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。





本書の使い方

本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



見た順に表示を戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

Adobe Reader には、本書の使用および印刷のための追加的なツールが用意されています。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。





本機の使い方

ここでは[本機のセットアップ](#)について説明します。DTH-2242には、さらにマルチタッチ機能が搭載されています。コントロールパネルで、本機、電子ペン、およびマルチタッチ機能の設定をカスタマイズできます。詳しくは、[本機をカスタマイズする](#)を参照してください。

[本機の機能](#)

[本機の角度を調整する](#)

[電子ペンの機能](#)



特定のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに関する情報は、本製品に付属していません。これらの情報に関しては、ご使用中のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

本機の付属品については、同梱のクイックスタートガイドを参照してください。

安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくため、本書の指示、注意、警告を必ずお守りください。これらを見逃して誤った取り扱いをすると、思わぬけがをしたり、データが失われたり、コンピュータが破損する恐れがあります。この場合は保証が無効となり、製品の修理および交換に応じられない場合がありますのでご注意ください。

お買い求めの製品を安全にセットアップしてお使いいただくために、タブレットドライバ CD-ROM に同梱されている「製品に関する重要なお知らせ」をよくお読みください。

-  **警告** この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡事故または重大な傷害事故につながる可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害事故または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

本書をよくお読みの上、記載事項を守ってお使いください。





本機の機能

本機の各部の名称と機能について説明します。

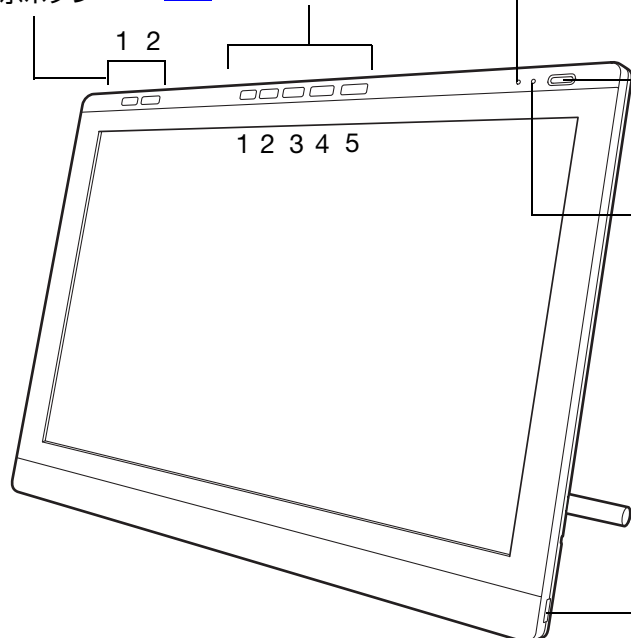
本体正面

本機には、以下のようなボタンおよび機能があります。

ワンタッチ表示ボタン 1 を押すとコントロールパネルが表示されます。2 を押すと OSD (オンスクリーンディスプレイ) 画面が表示され、ファンクションキーを使って画面の調整ができます。もう一度押すと OSD 画面が消えます。[画面を調整する](#)を参照してください。

ファンクションキーの機能については、[ファンクションキーを使う](#)を参照してください。

ワンタッチ
表示ボタン



ステータスランプ

画面上で電子ペンのスイッチがオンになると、青色に点灯します。

電源スイッチ

電源をオン/オフします。

パワーランプ

本機の電源がオンのとき、ビデオ信号が入力されると、青色に点灯します。

ビデオ信号が入力されない場合、オレンジ色に点灯します。(例：コンピュータの電源を切っている、起動中またはビデオ信号が送られない省電力状態になっているとき。)

USB ハブ (両側面に 1 つずつ)

外付け USB デバイスを接続することができます。USB デバイスを接続する前に、本機の設置とタブレットドライバのインストールを完了しておいてください。

ファンクションキー、および OSD の標準機能については、[ファンクションキーを使う](#)の説明と表を参照してください。





本体裏面

セキュリティロック・
スロット

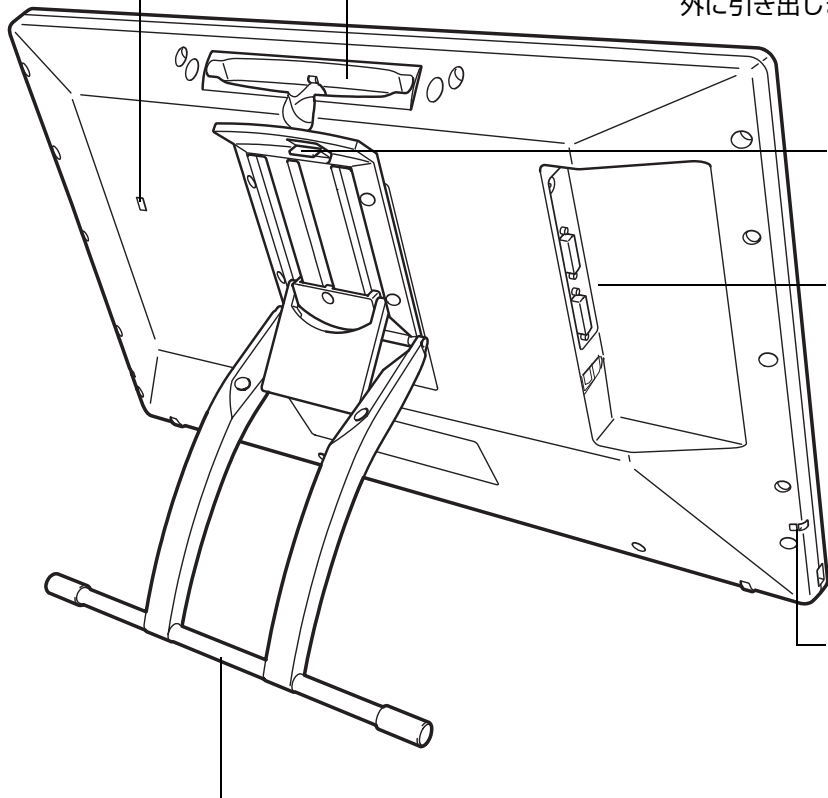
セキュリティケーブルを
取り付けることができます。

ペンホルダー

ケースの片側にペンの片側を入れ、続いて反対側をゆっくと押し込んでください。

ケースから取り出すときは、ペンの片側を押して反対側を浮かせ、手で持って取り出します。ペン先を傷つけないように注意してください。

注意： ペンを取り出すときは、ペンの下に指先を入れてペンホルダーの外に引き出します。



スタンド調整レバー

端子部

- DC 電源入力端子
- DVI-I 出力コネクタ
- DVI-I 入力コネクタ
- USB ポート

ペン紛失防止ケーブル取り付け穴

ペン紛失防止ケーブルを取り付けられます。この穴は左右にあります。

スタンド

本機の傾き角度を調整します。[本機の角度を調整する](#)を参照してください。

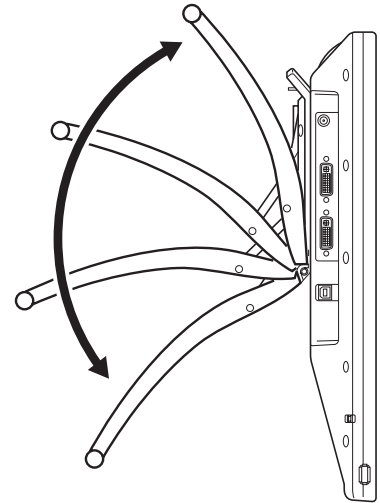
重要： スタンドを持って本機を持ち上げないでください。スタンドを破損するおそれがあります。本機を持ち上げたり、動かす場合、必ず本体をしっかり持って行ってください。





本機の角度を調整する

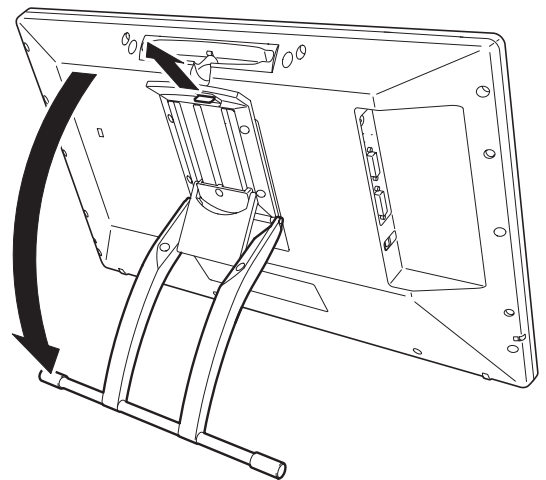
- スタンドを開くには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを外側に使いやすい角度まで開きます。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。
- スタンドを閉じるには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを元の位置に静かに戻します。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。



⚠ 注意

スタンドの可動部のすき間に指をはさまれないようにご注意ください。

スタンド調整レバーを引くときは、必ずスタンドに手を添えて支えてください。スタンドが倒れ破損やけが、故障の原因になります。





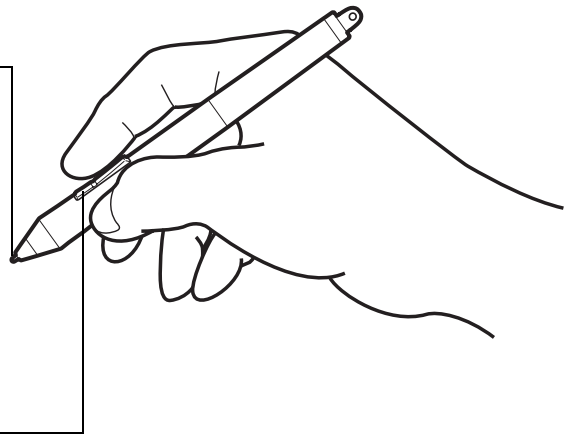
電子ペンの機能

電子ペンはコードレスおよび電池レスで、筆圧機能に対応しています。

基本的な機能は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。電子ペンの使い方の詳細は[電子ペンの使い方](#)を参照してください。

ペン先 (交換可能)：画面から5 mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。



サイドスイッチ：標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ 誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

補足： 電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、付属のペンホルダー（取り付けタイプ）に立てておく、または机の上に横にして置いてください。

ペン先が押された状態になる入れ物にペンを収納しないでください。ペンが故障する場合があります。

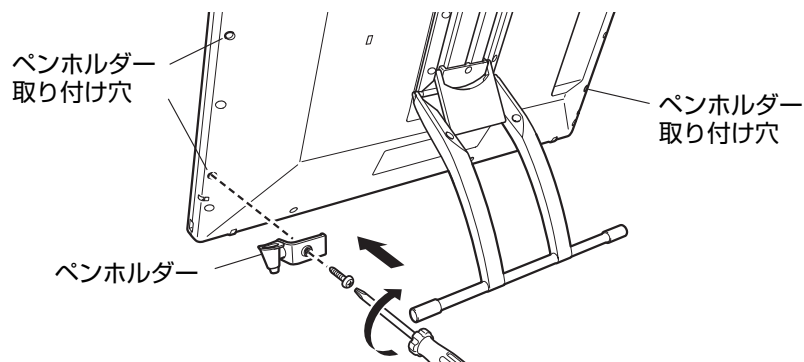
重要： 本機に付属の電子ペンのみをご使用ください。その他のペンは正しく機能しないことがあります。また、ペン先は本機の画面に対応して設計されています。付属品以外のペン先を使うと、画面を破損するおそれがありますので、使用しないでください。

ペンホルダーとペン紛失防止ケーブル

本機には、裏面上部のペンホルダー以外に、付属のペンホルダー（取り付けタイプ）とペン紛失防止ケーブルが付いています。

付属のペンホルダー（取り付けタイプ）は下図のように取り付けます。

ペン紛失防止ケーブルの取り付け穴については、[本体裏面](#)を参照してください。





本機のセットアップ

コンピュータは、本機を2つの別々の機器（ディスプレイとペンタブレット）として認識します。したがって、本機を準備する手順は2段階に分けて行います。

- 初めに、ディスプレイのセットアップを行います。
- 次に、ペンタブレットのセットアップを行います。

手順をよくお読みの上、正しく行ってください。

重要： 必ずタブレットドライバをインストールしてください。

[システム要件](#)

[ステップ1：ディスプレイのセットアップ](#)

[ステップ2：ペンタブレットのセットアップ](#)

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：
 - DTK-2241：Windows 8、Windows 7 (SP1以降)、Vista (SP2)、XP (SP3) (64ビット版を含む)
DTH-2242：Windows 8、Windows 7 (SP1以降) (64ビット版を含む)
 - アナログ RGB または DVI コネクタ
 - USB ポート
 - CD-ROM ドライブ
 - インターネット接続
- Macintosh の場合：
 - Mac OS X 10.6.8 以上
 - DVI またはアナログ RGB コネクタ
 - USB ポート
 - CD-ROM ドライブ
 - インターネット接続

本機は、デジタル (DVI) とアナログ (VGA) の両方のビデオ信号に対応しています。グラフィックボードを利用して本機を接続する場合は、まずグラフィックボードの取り付けを完了してください。グラフィックボードの取り付け方法は、コンピュータやグラフィックボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

補足： 本機は、マルチディスプレイ環境で使用することができます。マルチディスプレイの接続・設定については、本書では説明していません。ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

[マッピング画面切り替え](#)機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

本機は、別のディスプレイやプロジェクターなどを接続する為の DVI-I 出力端子を装備しています。この端子に接続したディスプレイの表示はミラーリングになります。別のディスプレイを接続する前に、本機のセットアップを完了してください。



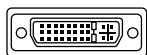


ステップ 1：ディスプレイのセットアップ

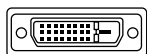
このステップでは、ディスプレイとしてのセットアップ手順を説明します。

重要： ステップ 1 では USB 接続ケーブルを接続しないでください。また、コンピュータまたは本機の電源が入った状態で、ディスプレイケーブルまたは電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータが故障することがあります。

1. 本機、およびコンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータに搭載されているディスプレイポートがデジタル (DVI) かアナログ RGB (VGA) かを確認し、正しいケーブルとコネクタを使って本機を接続してください。接続図の - A - を参照してください。
3. 本機の DVI-I コネクタとコンピュータのディスプレイポートを接続してください。コネクタのネジを締めてください。接続図の - B - を参照してください。

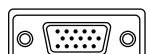


DVI-I コネクタ



DVI-D コネクタ

DVI 接続の場合：付属の DVI-DVI ケーブルで、本機の DVI-I 入力コネクタとコンピュータの DVI コネクタを接続します。



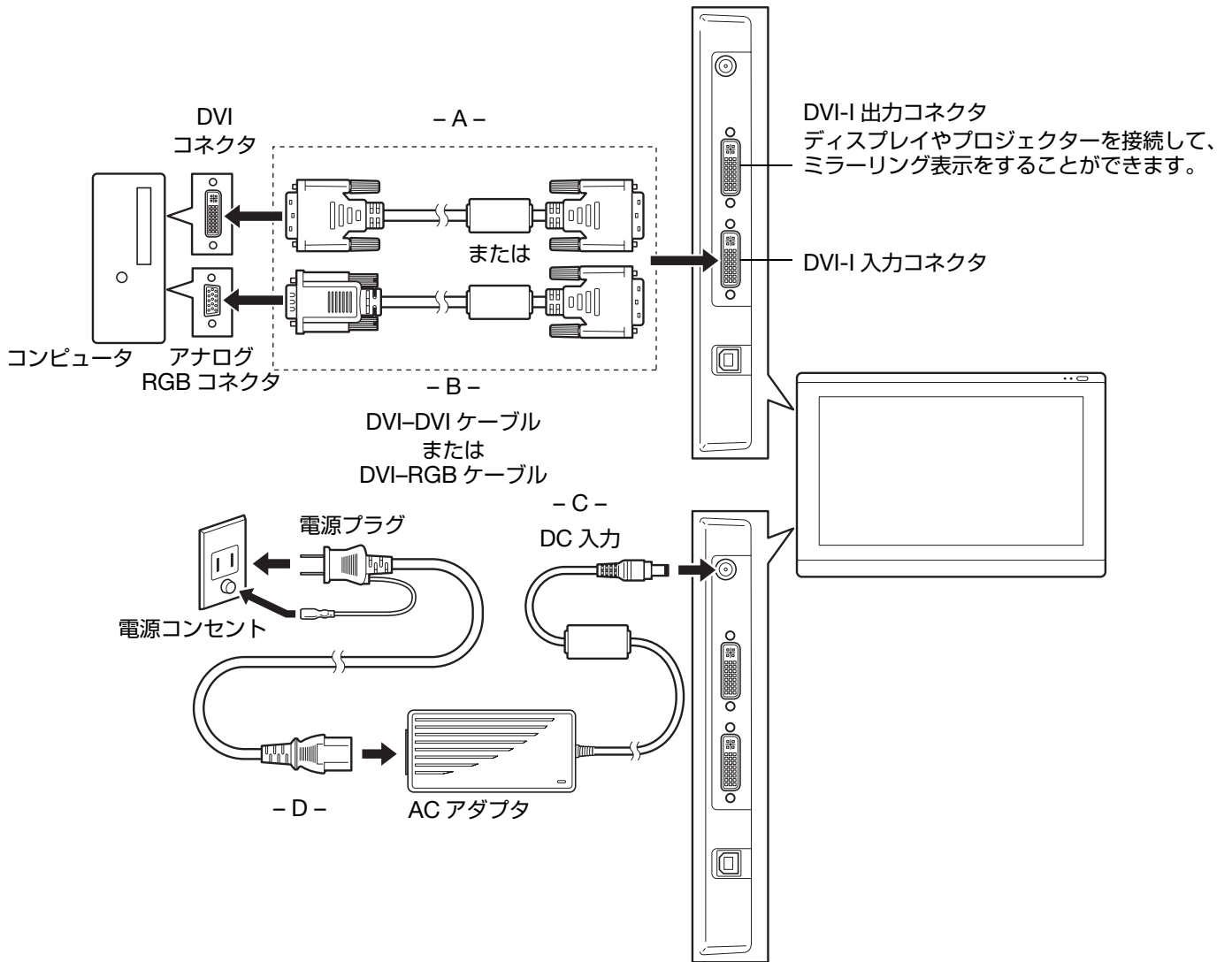
アナログ
RGB コネクタ

アナログ RGB 接続の場合：付属の DVI-RGB ケーブルで、本機の DVI-I 入力コネクタとコンピュータのアナログ RGB コネクタを接続します。

4. AC アダプタを本機に接続します。接続図の - C - を参照してください。
5. 電源ケーブルを AC アダプタに接続し、電源プラグを 100V 電源コンセントに差し込みます。接続図の - D - を参照してください。
6. 本機の電源をオンにします。パワーランプが青→オレンジの順に点灯します。



接続図



⚠ 注意

本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機を破損するおそれがあります。付属のディスプレイケーブルは入力用です。出力用には別途市販のディスプレイケーブルをご購入ください。



7. コンピュータの電源を入れます。
8. コントロールパネルから適切な解像度と色数の設定を行ってください。
本機で使用可能な解像度と色数については、[製品情報](#)を参照してください。解像度と色数は、ご使用のコンピュータやグラフィックボードの性能によって制限されることがあります。
Windowsの場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、最初にコントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。
画面を微調整するには、[画面を調整する](#)を参照してください。
9. 画面設定が完了しましたら、[ステップ2：ペンタブレットのセットアップ](#)に進みます。

トラブルに関するヒントは、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

補足： 本機のパネルは、厳しい品質基準に基づき製造されておりますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）がある場合、ちらつきまたはモアレを表示しているように見えることがあります。

ディスプレイ画面に過度の圧力を加えないでください。モアレまたは水たまりのような模様が現れる原因になることがあります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。





補足： ICC カラープロファイルをインストールするには、以下の設定を行なってください。

Windows の場合：本機は、自動で標準のディスプレイとして設定されます。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）ICC カラープロファイルをインストールするには、以下の設定を行ってください。

A) コントロールパネルを開く

- Windows 8、Windows 7、Vista (DTK-2241 のみ) の場合：「デスクトップのカスタマイズ」で、「画面の解像度の調整」を選択します。
- Windows XP (DTK-2241 のみ) の場合：「画面のプロパティ」コントロールパネルを開き、「設定」タブを選択します。

コンピュータに他にもディスプレイが接続されている場合、「識別」をクリックして、本機となるディスプレイを選択してください。

B) 「カスタマイズ」をクリックします。

C) 「モニタ」タブを選択し、「プロパティ」をクリックします。

D) 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。ドライバの更新ダイアログまたはウィザードが表示されます。

E) タブレットドライバ CD を挿入します。「ワコムタブレット」インストールメニューが表示された場合は閉じます。

Windows 8、Windows 7、Vista の場合：

- 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
- タブレットドライバ CD のドライブレターを入力し、「次へ」をクリックします。
- インストールが完了した後、コントロールパネルを閉じます。

Windows XP の場合：

- ドライバを検索するか尋ねるウィザードが表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- タブレットオプションを選択し、「ディスク使用」をクリックします。CD-ROM ドライブのドライブレター（例：E:¥）を入力し、「次へ」をクリックします。
- 画面表示に従って操作を進めてください。（「ハードウェアのインストール」ダイアログボックスが表示されたら、「続行」をクリックします。）インストールが完了した後、「完了」をクリックして、開いているコントロールパネルウィンドウを閉じます。

Macintosh の場合：ICC カラープロファイルは、タブレットドライバのインストール中にカラーマネジメントシステムに追加されます。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）本機でカラープロファイルを使用する場合は、システムの ColorSync コントロールパネルのタブレットプロファイルを選択する必要があります場合があります。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムおよびソフトウェアの取扱説明書で、カラーマネジメントシステムを参照してください。





ステップ 2：ペンタブレットのセットアップ

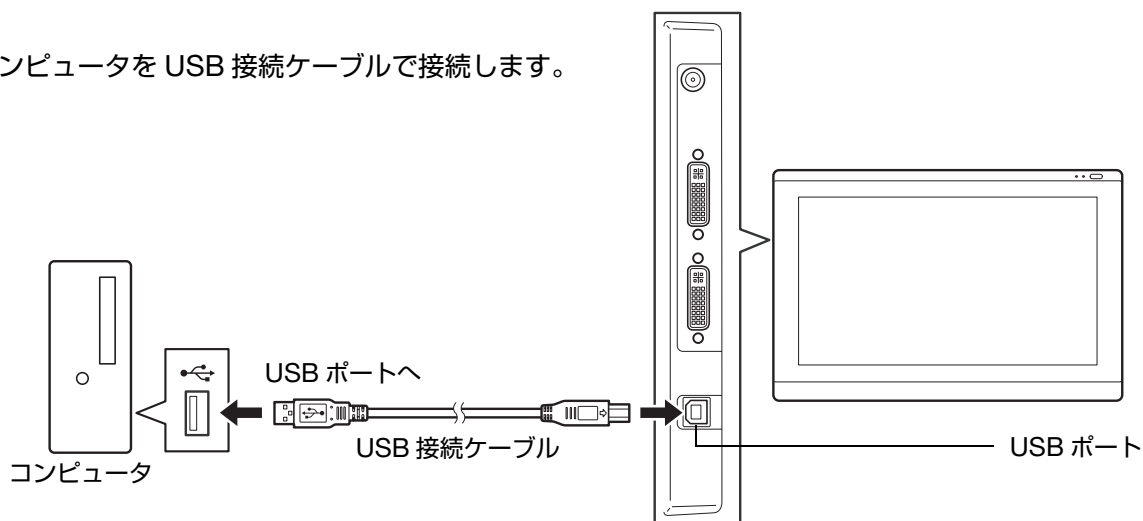
このステップでは、ペンタブレットとしてのセットアップ手順を説明します。

[USBケーブルの取り付け](#)

[タブレットドライバのインストール](#)

USBケーブルの取り付け

本機とコンピュータを USB 接続ケーブルで接続します。



次に、[タブレットドライバのインストール](#)に進みます。





タブレットドライバのインストール

重要： 画面上で電子ペンによる操作を正常に行うためには、付属のタブレットドライバをインストールする必要があります。

すでに Intuos シリーズまたは Cintiq シリーズのタブレットドライバをインストールしている場合は、そのドライバをアンインストールしてください。

作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。

1. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。インストールメニューが表示されます。インストールメニューが自動的に表示されない場合は、CD を開き「Startup.exe」をダブルクリックします。

補足： ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。

2. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
3. タブレットドライバの使用許諾契約が表示されます。内容に同意したら「同意する」をクリックします。
お知らせ 「タブレットを接続する」画面が表示されたときは本機とコンピュータの接続を確認してください。
4. インストールが完了したら「OK」をクリックします。

ヒント： ドライバのインストールが正常に行えない場合、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してみてください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウイルス監視プログラムを ON にしてください。

5. タブレットドライバのインストール完了後、本機の上で電子ペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に飛びます。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に飛びます。

6. タブレットドライバのインストールがうまくいかない場合は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。
7. 画面のポインタとペン先の位置を合わせてください。[ペン先の位置調整](#)を参照してください。

補足： タブレットドライバをインストールすると、Microsoft Windows 8、Windows 7、Vista、XP (Windows 7 Starter と Home Basic、および Windows Vista Home Basic を除く) 内で利用可能な新しいペン入力の機能が自動的に起動します。

タブレットドライバはユーザ固有の環境設定をサポートします。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

タブレットドライバをアンインストールする場合、[タブレットドライバのアンインストール](#)を参照してください。

本機が正しく動作しない、またはポインタをコントロールできなくなった場合、本機の環境設定に異常が生じたおそれがあります。現在の環境設定を削除し、本機をお買い上げ時設定の状態に戻すことができます。[タブレット設定ファイルの管理](#)を参照してください。





本機を使用する

本機を使用するときは、紙に書くときと同じように電子ペンを持ち、軽く手を画面上に載せます。

[姿勢と作業環境を整える](#)

[電子ペンの使い方](#)

[マルチディスプレイ環境で使う](#)

[画面を調整する](#)

姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。本機、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- 作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 電子ペンを持つときは、なるべく力を抜いて持ちます。
- 1日のうちで異なる作業を入れ替えて行います。
- 常に正しい姿勢を保ちます。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

ヒント：本機をコンピュータから離しすぎて、ケーブルがコネクタやポートから抜けてしまわないように注意してください。

ペン紛失防止ケーブルを使って、電子ペンと本機をつないでおくことができます。ペン紛失防止ケーブルの一方の端をペンの取り付け穴に結び、もう一方の端を本機の左右のペン紛失防止ケーブル取り付け穴のどちらかに取り付けます。

本機は、VESA 規格に対応しているマウントアーム、または市販のスタンドにも取り付けることができます。詳細は、[マウントアームに取り付けて使う](#)を参照してください。





電子ペンの使い方

電子ペンはコードレスおよび電池レスです。また、ペン先にかかる筆圧を感知します。

[電子ペンを手に持つ](#)

[ポインタの位置決め](#)

[クリック](#)

[ダブルクリック](#)

[ドラッグ](#)

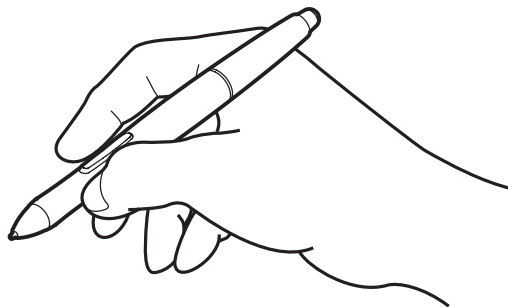
[サイドスイッチを使う](#)

[筆圧を使って描画する](#)

[マルチディスプレイ環境で使う](#)

電子ペンを手に持つ

通常のペンや鉛筆のように持ってください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。



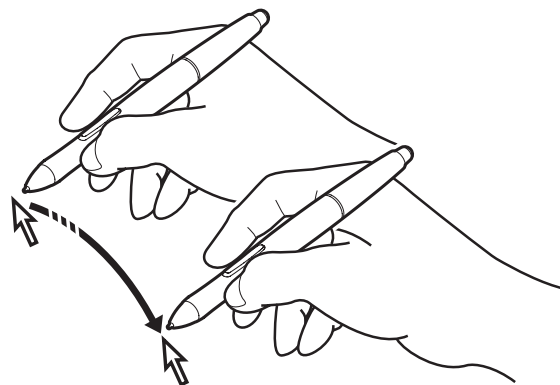
ペンの設定変更については、[本機をカスタマイズする](#)を参照してください。

お知らせ 誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ポインタの位置決め

画面上でポインタの位置を決めるときは、画面に触れずにペンを画面の少し上で動かします。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：[ペン先の位置調整](#)をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合には、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない、もしくはペン先とポインタの位置調整を行っていない可能性があります。タブレットドライバをインストールしていない場合は、必ずタブレットドライバをインストールしてください。また[トラブルシューティング](#)を参照してください。





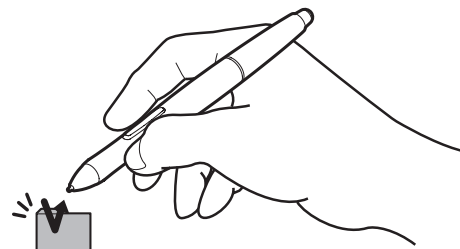
クリック

画面をペン先で1回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ヒント Windowsの場合：電子ペンでの操作をより簡単にする設定。電子ペンをアイコン上で1回クリックするとアイコンが起動するように、Windowsを設定できます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 8、Windows 7、Vistaの場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「一般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

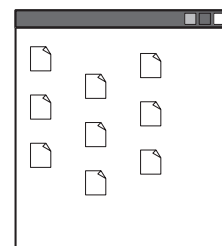
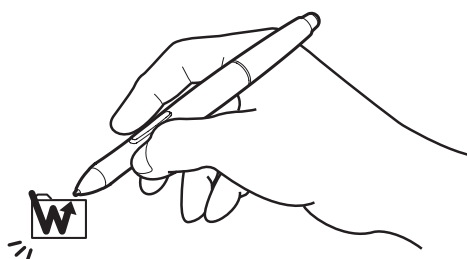
Windows XPの場合：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。



ダブルクリック

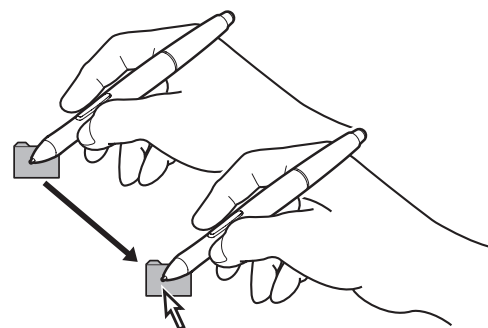
上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く2回、軽くたたきます。

ダブルクリックしやすく微調整する方法については、[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。



ドラッグ

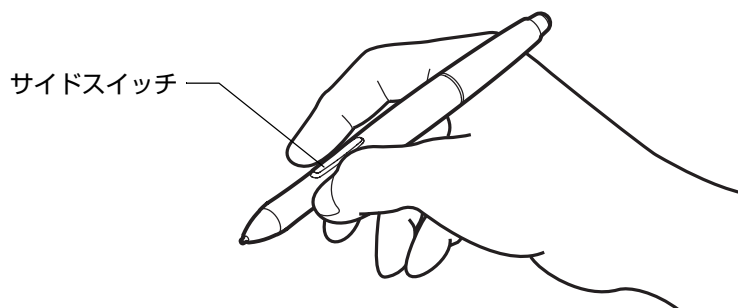
オブジェクトを電子ペンでタッチし、次にペン先を画面上でスライドさせて、オブジェクトを動かします。





サイドスイッチを使う

標準の電子ペンにはサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでもサイドスイッチを使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、上側のスイッチは「ダブルクリック」、下側のスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効にすることができます。[本機をカスタマイズする](#)を参照してください。



筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンとブラシのストロークを作成します。筆圧対応のアプリケーションは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

ファンクションキーを使う

ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながら電子ペン、タッチ入力、またはその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使うことができます。お使いの機種が[マルチタッチ入力](#)に対応していれば、以下の機能の多くはジェスチャーで実行することができます。

ファンクションキー 1～5（[本体正面](#)参照）の標準設定が表示されます。

ファンクションキー番号	DTK-2241	DTH-2242 (タッチ機能搭載)
1	ラジアルメニュー	タッチ ON/OFF
2	プレジジョンモード	プレジジョンモード
3	マッピング画面切り替え	オンスクリーンキーボード
4	戻る	戻る
5	進む	進む

補足： 2つのファンクションキーを組み合わせることで操作することができます。たとえば、1つのファンクションキーに [Ctrl] キーを、別のファンクションキーに [Alt] キーを割り当てた場合、両方のファンクションキーを同時に押すと、[Ctrl] + [Alt] が実行されます。





マルチディスプレイ環境で使う

本機およびセカンドディスプレイを同一のコンピュータに接続して、マルチディスプレイ環境で使用することができます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、セカンドディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いてそのファンクションキーまたはサイドスイッチを押すと、本機とセカンドディスプレイとの間でポインタを切り替えることができます。たとえば、ご使用中の装置を液晶ペンタブレット（ポインタの位置はペン先）として使用したり、切り替えて通常のペンタブレット（ポインタをデスクトップ全体またはセカンドディスプレイ上で移動可能）として使用したりできます。
詳細は、[マッピング画面切り替えを使う](#)を参照してください。
- ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードとセカンドディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。

画面を調整する

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを本機で利用可能な最大解像度 1920×1080 に設定します。

オートアジャスト機能：本機は、自動的に入力信号に同期します。オートアジャスト機能によって、水平および垂直位置、ピッチおよびフェーズが設定されます。オートアジャスト機能は、サポートする水平および垂直周波数レンジ間で機能します。

アナログ RGB 接続時に本機が自動的に入力信号と同期しない場合は、OSD メニューのオートアジャスト機能を使用して調整することができます。さらに OSD メニューを使用して、手動で画面表示を調整できます。

色補正：色、色温度、コントラスト、明るさ、またはバックライトを標準設定値から変更すると、設定した ICC カラープロファイルは無効になります。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）





画面の調整

様々な表示設定を OSD モードで最適化できます。OSD モードでは、ファンクションキー 1～4 ([本体正面参照](#)) に OSD 機能が割り当てられます。OSD 機能は、DTK-2241 および DTH-2242 で以下のように割り当てられます。

OSD モードへの切り換え：

1. 右側のワンタッチ表示ボタン (ボタン 2) を押すと、OSD メニューが表示されます ([本体正面参照](#))。
2. ファンクションキー 1～4 を使って設定を変更・選択します。
3. 再度ワンタッチ表示ボタンを押して OSD メニューを閉じ、ファンクションキーモードにもどります。

ファンクションキー番号	OSD モードの機能
1	選択
2	カーソルを上へ移動
3	カーソルを下へ移動
4	設定を保存して、ひとつ上のメニューレベルへ戻る

補足： ファンクションキー 1 を押すと OSD メニューを閉じることができます。OSD メニューが閉じると設定はすべて自動的に保存されます。

OSD メニューのメニューオプション：

「OSD メニュー言語設定 (LANGUAGE)」オプションを使用して、OSD メニューの表示言語を設定できます。

「OSD メニュー表示設定 (OSD POSITION)」オプションは以下の通りです。

- 「垂直位置」 OSD メニュー画面の垂直位置を微調整できます。
- 「水平位置」 OSD メニュー画面の水平位置を微調整できます。
- 「透明度」 OSD メニュー画面の透明度を微調整します。

「表示設定 (DISPLAY)」オプションは以下の通りです。

- 「コントラスト」画面のコントラストを調節します。
- 「明るさ」画面の明るさを調節します。
- 「バックライト輝度」バックライトの明るさを調節します。

「カラー設定 (COLOR)」オプションは以下の通りです。

- 「5000K、6500K、9300K」画面の色温度を設定できます。
- 「ダイレクト」無調整で、コンピュータからの映像信号を直接表示します。このときはコントラストまたは明るさの調整はできません。
- 「ユーザー設定」「R (赤)」、「G (緑)」、「B (青)」の表示色を個別に調整できます。

補足： 色設定を手動で変更すると、ICC カラープロファイルが無効になります。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)

「表示サイズ設定 (SCALING)」オプションは以下の通りです。

- 「全画面」画面全体に表示します。
- 「縦横比」正確な縦横比を維持しながら最大限度の画面表示を行います。
- 「1:1」実際の解像度で表示します。






「画像設定 (OTHER)」 オプションは以下の通りです。

- 「垂直位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の垂直位置を変更します。自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「水平位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の水平位置を変更します。自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「オートアジャスト」 (アナログ RGB のみ) フェーズ、ピッチ、水平・垂直位置の全ての自動調整が可能です。
- 「リセット (RESET)」を使用すると、すべての調整値が工場出荷時の設定に戻ります。
- 「EXIT」を使用すると、設定を終了し、メインメニュー画面に戻ります。





DTH-2242 のマルチタッチ機能を使う

- マルチタッチ入力の情報：

DTH-2242 固有のマルチタッチ機能のトピックに関しては、このアイコンを表示します。

DTH-2242 ペンタブレットにはマルチタッチ機能があり、本機の画面上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

DTH-2242 では、ノートパソコンのトラックパッドと同様にマルチタッチ機能を使うことができます。初めに基本操作を学び、ポインタの操作や通常のマウス操作を行うことができますようにします。次に、スクロール、ズーム、回転などの操作が行えるようにします。

本機の画面に指で触れると、マルチタッチ入力が可能になります。

- マルチタッチ入力をするときは、指を操作しやすい間隔に開いてください。指同士をぴったりとくっつけて画面に置くと、1本の指を使った操作と判断され、操作やジェスチャーを識別しにくくなる場合があります。
- もっとも操作しやすい方法でマルチタッチ入力を行ってみてください。ジェスチャー中は不用意なタッチを避けるように注意してください。たとえばズームやスクロール中に画面に小指などが触れると、誤って右クリックが実行されたりする場合があります。

補足： 電子ペンとマルチタッチ両方に対応した機種では、対応するソフトウェアであれば、同時に電子ペンとマルチタッチ操作を使用して作業することができます。例えば、電子ペンを使用して表面テキストを作成する場合に、マルチタッチを使って 3D オブジェクトを回転させることができます。ペン先が液晶ペンタブレットの検出範囲にある限り、電子ペンはタッチよりも優先します。タッチ操作を行うには、電子ペンを持ち上げ電子ペンを持つ手を画面から離してください。

[マルチタッチによる操作](#)

[マルチタッチのカスタマイズ](#)

[マルチタッチのテスト](#)

マルチタッチによる操作



各タッチオプションは、コントロールパネルから有効 / 無効を切り替えることができます。「タッチオプション」、「ジェスチャーの標準設定」、あるいは「ジェスチャーの個別設定」タブでチェックを入れたタッチオプションは有効になります。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。

[マルチタッチのカスタマイズ](#)または[ファンクションキーをカスタマイズする](#)を行って、さらに別のタッチ機能を実行することもできます。



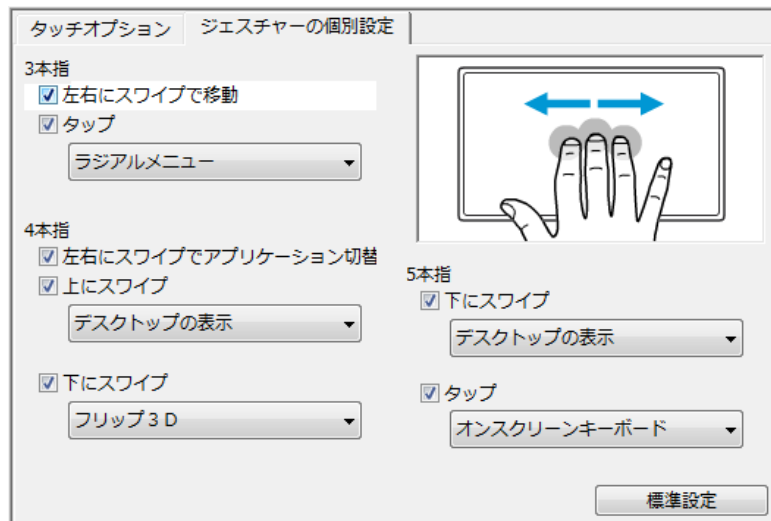


コントロールパネルの「タッチオプション」タブで、「タッチ入力を有効にする」のチェックを外すと、タッチ入力を無効にすることができます。「タッチ ON/OFF」機能は、ファンクションキー 1 に標準設定されています。

右の画面は Windows での「ジェスチャーの個別設定」タブを例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

このタブは、「タッチオプション」タブの「ワコム
のジェスチャーを使う」を選択した場合にのみ表示
されます。

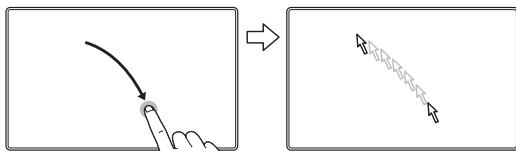


補足： ここで説明する2本指でのタッチ操作やジェスチャーは、主に Mac を対象にしています。

類似したジェスチャーもありますが、Windows の標準設定では Windows 標準の2本指でのジェスチャーを使います。

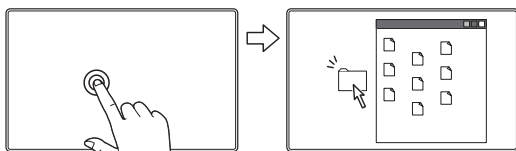
異なるソフトウェアで同じタッチ操作を使いたい場合は、コントロールパネルの「タッチオプション」タブで「ワコムのジェスチャーを使う」を選択します。

基本機能



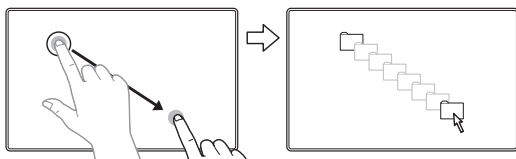
トラック

1本の指で画面のポインタの位置を決めます。画面のポインタは、画面上で指先が触れた位置に移動します。



ダブルクリック

1本の指で1つの項目を2回タップします。



ドラッグ

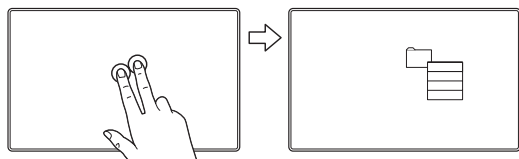
1本の指で1つの項目を選択します。次に画面上で指を動かして、選択項目をドラッグします。最後に指を持ち上げて項目から離します。

ヒント： デスクトップ上では複数の項目を選択し、ドラッグできます。

Windowsの場合： 複数の項目を選択する場合、タップしながら「Ctrl」または「Shift」キーを押します。

Macの場合： 複数の項目を選択する場合、タップしながら「shift」または「command」キーを押します。



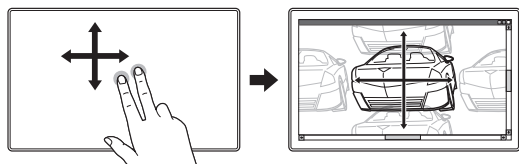


タップで右クリック

右クリックして、画面上のポインタの位置にコンテキストメニューを表示させるには、2本の指を少しだけ離して画面をタップします。

次に、1本の指でタッチしてメニューのオプションを選択します。

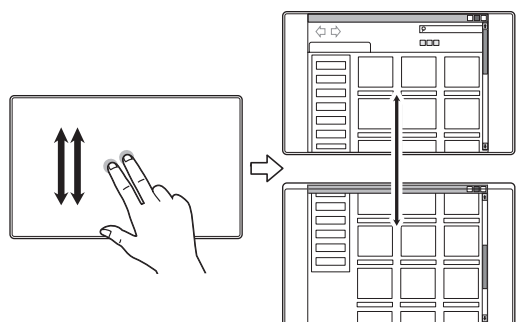
ソフトウェア特有の機能



スクロール

2本の指を本機の画面に置きます。指を同時にゆっくりと平行移動させます。

- 上方向へ指をスライドさせると、画面の上方向へファイルがスクロールします。
- 下方向へ指をスライドさせると、画面の下方向へファイルがスクロールします。
- 左方向へ指をスライドさせると、画面の左方向へファイルがスクロールします。
- 右方向へ指をスライドさせると、画面の右方向へファイルがスクロールします。



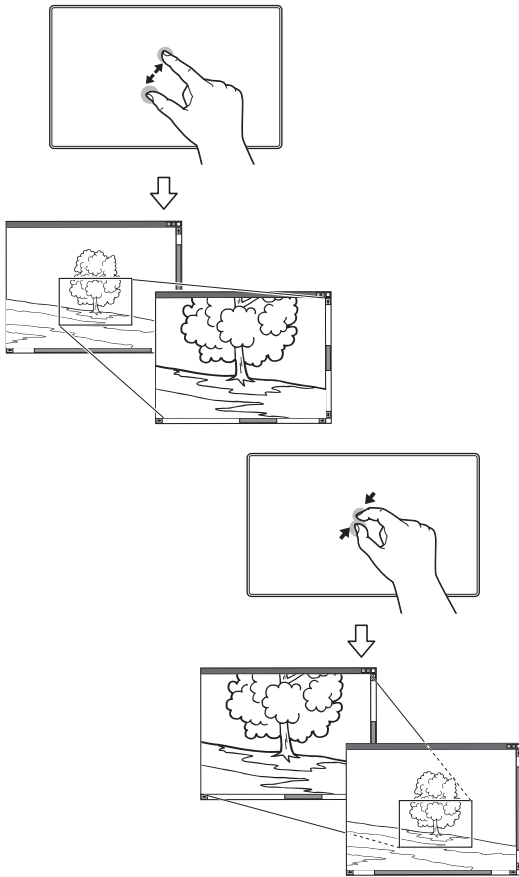
ファストスクロール

2本の指を同時に素早く動かし（あるいはフリックし）、動作の終わりに指を上へ持ち上げます。

- 上方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。
- 下方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。

補足： ファストスクロールは、垂直スクロールに対してのみ有効です。

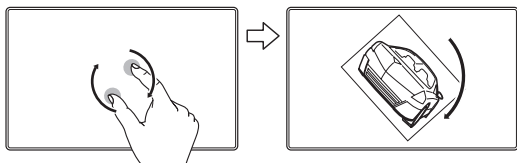




ズーム

初めに、本機の画面に2本の指を置きます。

- 1つの指ともう1つの指の間が徐々に広がるように、拡大操作を行います。
- 1つの指ともう1つの指でつまむようなかたちをつかって、指同士が徐々に近づくように縮小操作を行います。

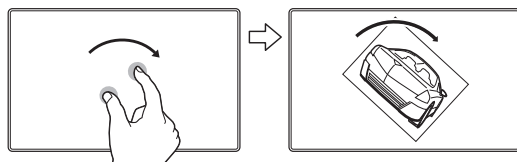


回転（2本指での回転）

本機の画面に2本の指を斜めに離して置き、時計回りあるいは反時計回り方向に回転させます。

このジェスチャーを本機に正しく認識させるために、2本の指を斜めに約25 mm以上離してから画面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足： 回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。90度ずつ回転する場合は、全く回転しない場合もあります。



回転（指を軸にして回転）

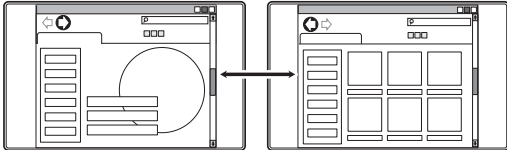
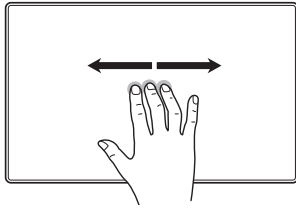
本機の画面に2本の指を斜めに離して置きます。

1本の指を固定して、その指を軸にしてもう1本の指をそのまわりで回転させます。

このジェスチャーを本機に正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm以上離してから画面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足： 回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。90度ずつ回転する場合は、全く回転しない場合もあります。





左右スワイプによるページ移動

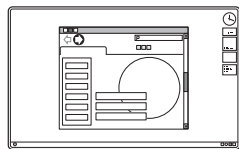
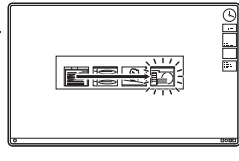
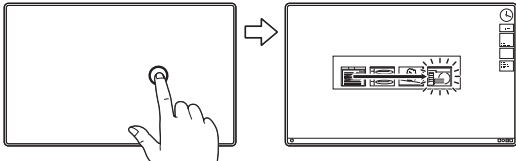
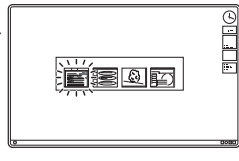
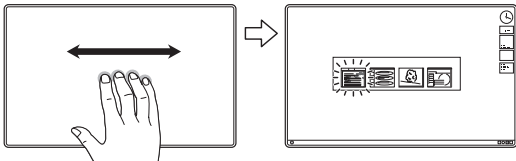
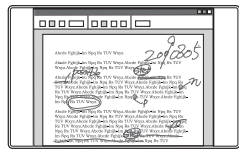
「進む」または「戻る」(右あるいは左へのスワイプ)

3本の指を少し離れた状態でスワイプします。動作の終わりに指を持ち上げます。

- 右方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「進む」が実行されます。
- 左方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「戻る」が実行されます。

ヒント：スワイプは、ドキュメントビューアでの右矢印キーおよび左矢印キーを使用するのと同じ働きをします。

ジェスチャーによるスワイプを使用すると、ほとんどの Web ブラウザでページを進めたり前に戻したりできます。



左右スワイプによるソフトウェアの切り替え

指同士を少し離れた状態で4本の指を左右に動かすと、アプリケーションスイッチャーが開きます。

続いて1本の指でソフトウェアを選択します。

Mac OS X 10.7 以降の場合：4本の指で左右にスワイプすると、フルスクリーンアプリケーションが切り替わります。

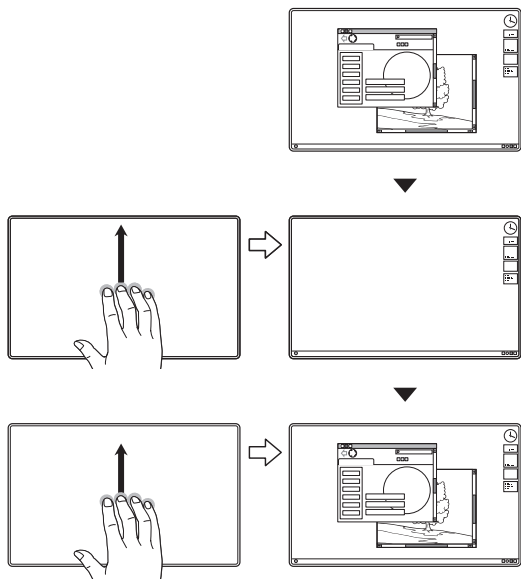


上方向スワイプでデスクトップ画面を表示

指同士を少し離れた状態で 4 本の指を上方向にスワイプすると、表示中のウィンドウが隠れ、デスクトップが表示されます。再度上方向にスワイプすると、隠れたウィンドウが再びデスクトップ上に戻されます。

Mac OS X 10.7 以降の場合：4本の指を上方向にスワイプすると Mission Control が開き、お使いの Mac で開かれているすべてのウィンドウを表示します。もう一度上方向にスワイプすると、Mission Control を終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



下方向スワイプでフリップ 3D/EXPOSÉ/APP EXPOSÉ を実行

指同士を少し離れた状態で、4本の指を下方向にスワイプします。

- **フリップ 3D (Windows) の場合**：最初のスワイプでフリップ 3D が開きます。再度下方向にスワイプするとフリップ 3D が閉じます。

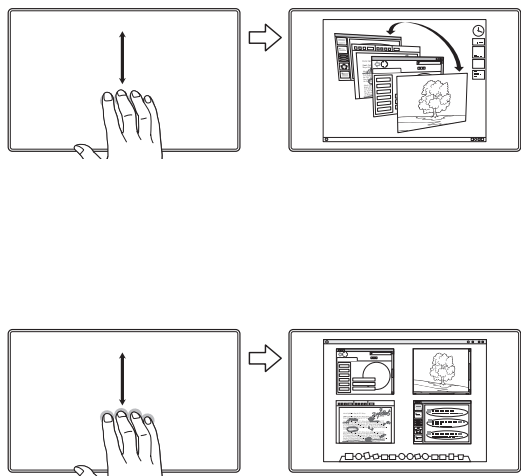
左または右にスワイプして、開いた複数のウィンドウ間を移動します。1本の指で1回タップして選択します。

- **Exposé (Mac) の場合**：最初のスワイプで Exposé が開きます。再度下方向にスワイプすると Exposé は閉じます。

1本の指で1回タップして選択します。

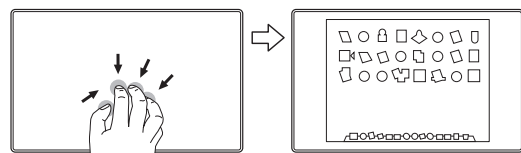
- **App Exposé の場合 (Mac OS X 10.7 以降)**：下方向にスワイプすると、使用中のソフトウェアが開いているウィンドウをプレビューします。もう一度下方向にスワイプすると、App Exposé を終了します。

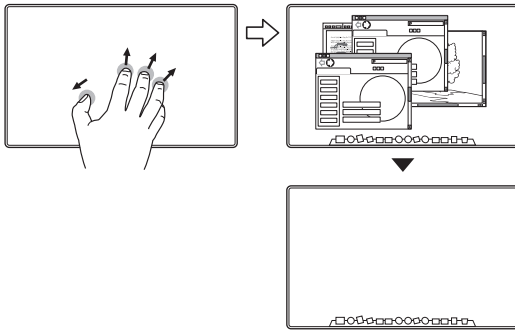
このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



ピンチで Launchpad を開く

Mac OS X 10.7 以降の場合：本機の画面に親指と他の 3 本の指を置き、すべての指を閉じるように近づけると、表示中のウィンドウが消え、コンピュータにあるすべてのソフトウェアが画面に表示されます。

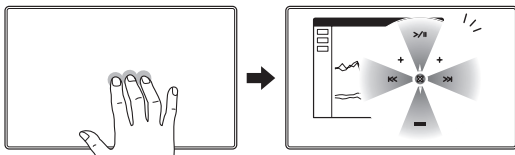




スプレッドでデスクトップを表示する

Mac OS X 10.7 以降の場合：本機の画面に親指と他の 3 本の指を置き、すべての指を離すように広げると、デスクトップが表示されます。

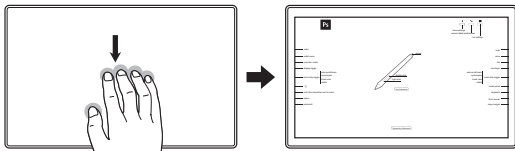
ワコム固有の機能



タップでラジアルメニューを表示

3 本の指を少し離してタップすると、本機の画面に[ラジアルメニュー](#)が開きます。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



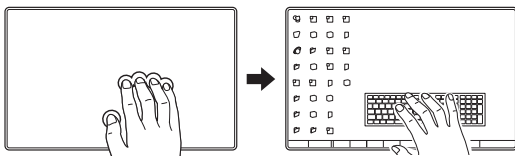
下方向スワイプで設定内容を表示する

少し離れた状態の5本の指を下方向にスワイプすると、現在のファンクションキー、タッチホイール、電子ペン、およびタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧が、画面に表示されます。

各項目をクリックするとコントロールパネルのタブを開き、設定の変更を行うことができます。

再び下方向にスワイプするか、各項目以外の領域をクリックすると、表示は終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



タップでオンスクリーンキーボードを表示する

5 本の指を少し離して画面上の項目をタップします。この操作でオンスクリーンキーボードを表示します。

再び 5 本の指でオンスクリーンキーボードをタップしてキーボードを閉じます。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。





マルチタッチのカスタマイズ



使い方に合わせて、コントロールパネルからマルチタッチ入力の最適なカスタマイズを行うことができます。コントロールパネルの「入力デバイス」リストから「タッチパネル」（タッチアイコン表示）を選択し、カスタマイズしたいタブに切り替え、利用可能なオプションを選んで設定を変更します。[マルチタッチによる操作](#)をご覧ください。

[コントロールパネルの概要](#)

[マルチタッチオプションを設定する](#)

[ジェスチャーの標準設定](#)

[ジェスチャーの個人設定](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

[マルチタッチ入力を無効にする](#)





マルチタッチオプションを設定する



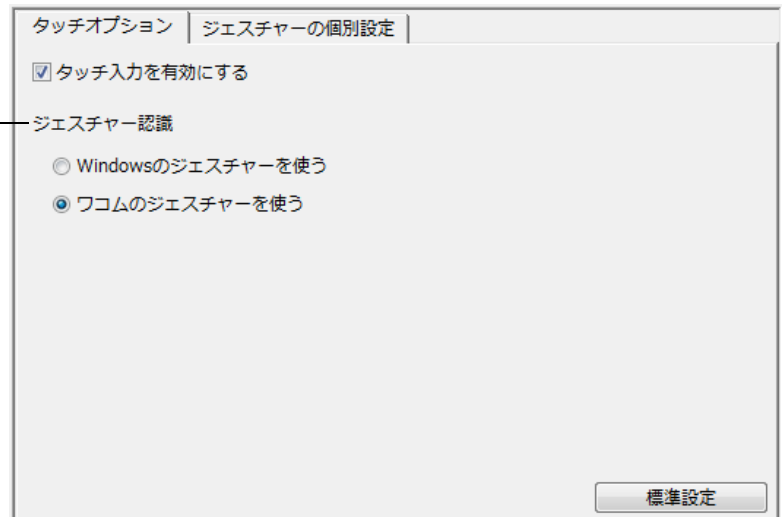
「タッチオプション」タブを選択します。

Windows 8 および Windows 7 の場合

使用するオプションを、「Windows のジェスチャーを使う」または「ワコム のジェスチャーを使う」のどちらかに設定します。標準設定は「ワコム のジェスチャーを使う」です。

これはグローバルオプションの1つで、使用するすべてのソフトウェアに適用されます。

ヒント：複数のソフトウェア間で同じ操作を使いたい場合、「ワコム のジェスチャーを使う」を選択してください。選択すると、全ての Windows 標準のジェスチャーが、コントロールパネルの「ジェスチャーの個別設定」タブに表示されるカスタマイズ可能なジェスチャーと同様に利用できるようになります。





ジェスチャーの標準設定



Machintosh をお使いの場合に、DTH-2242 をカスタマイズし、ユーザごとに最適なタッチの設定を行う場合は、「ジェスチャーの標準設定」タブを選択します。

補足： このタブは Windows では使用できません。Windows 標準の 2 本指での操作およびジェスチャーは常に使用できます。

各項目をチェックすると、[マルチタッチ](#)操作やジェスチャーが利用可能になります。

様々な使い方に対応できるように、右クリックなど一部の機能は別の動作でも実行できます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

タッチオプションを選ばなければ、自動的に一番上のタッチオプションから順に画像が表示されます。

[マルチタッチによる操作](#)および[ジェスチャーの個人設定](#)もご覧ください。



上の画面は Mac での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。





ジェスチャーの個人設定



カスタムタッチジェスチャーを作成する場合は、「ジェスチャーの個別設定」タブを選択します。

[マルチタッチ](#)のジェスチャーは、ドロップダウンメニューから選んで変更でき、選択したジェスチャーを使うことができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

タッチオプションを選ばなければ、自動的に一番上のタッチオプションから順に画像が表示されます。

[マルチタッチによる操作](#)および[ジェスチャーの標準設定](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

このタブは、「タッチオプション」タブの「ワコム製のジェスチャーを使う」を選択した場合にのみ表示されます。

マルチタッチのテスト



マルチタッチ入力に関してトラブルがあった場合は、現在割り当てられているタッチ機能をチェックするか、または標準設定に戻してください。

さらにマルチタッチのテストを続ける場合：

1. 画面上のいろいろな場所にタッチして、画面のポインタを動かします。
2. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスは、本機とお使いの入力デバイスの現在の状態、およびマルチタッチ入力が可能な機種についての適切な情報を表示します。
3. 「診断」ダイアログボックスを開き、画面を1本の指でタッチし、次に2本の指でタッチします。
画面をタッチするたびに、「タッチ情報」の状態が変化します。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。



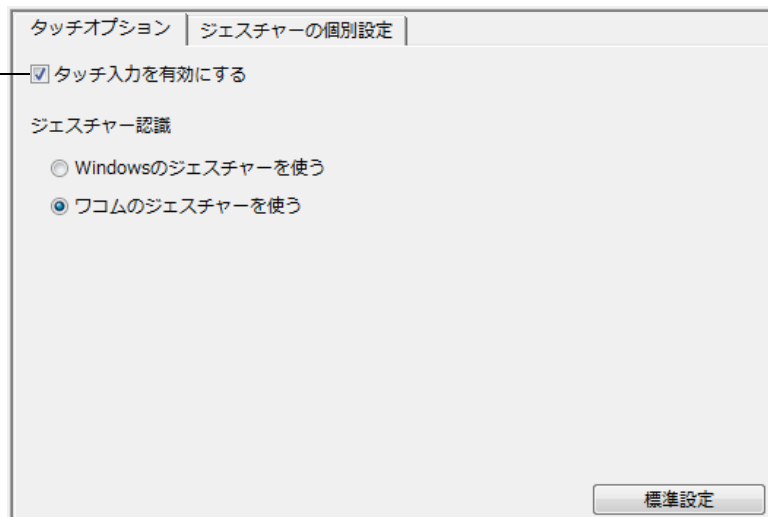


マルチタッチ入力を無効にする



「タッチオプション」タブを選択して、タッチの有効/無効を切り替えます。

- 選択を解除するとタッチ入力が無効になります。マルチタッチ入力を無効にしてもファンクションキーおよび電子ペンでの作業は有効です。
- 「タッチ ON/OFF」機能は、ファンクションキー 1 に標準設定されています。



省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS (Display Power Management Signaling) に対応したコンピュータまたはビデオカードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

これらの省電力機能が有効な場合は、画面表示は通常より暗くなります。

下表の消費電力は、DTK-2241、DTH-2242 の両方に共通です。

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	45W 以下	青色
省エネモード	なし	あり	なし	1W 以下	青色 / オレンジ色*
オフモード	なし	なし	なし	0.5W 以下	オレンジ色





本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズしてみましょう。この章では、コントロールパネルを使い、本機をカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[ペン先の位置調整](#)

[電子ペンのカスタマイズ](#)

[ファンクションキーをカスタマイズする](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

コントロールパネルを開く

コントロールパネルは、本機の画面上で電子ペンを使って開くことができます。

Windows 8 の場合： Windows 8 のスタート画面で「ワコムタブレットのプロパティ」タイルをクリックします。クラシックデスクトップ使用時は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーで Windows アイコンを選択してスタート画面を開きます。

Windows 7、Vista、XP の場合： Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。

Macintosh の場合： アップルメニューの「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開き、本機のカスタマイズを始めます。[コントロールパネルの概要](#)を参照してください。

補足： タブレットドライバは、ユーザ固有の環境設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わりません。





コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機をカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、ペンのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。選択中の入力デバイスはハイライト表示されます。

電子ペンと本機をカスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、いつでもお買い上げ時の標準設定に戻ります。

補足： [特定のソフトウェアに対する設定](#)は、操作に慣れたユーザ向けです。

コントロールパネルの上の部分は、ご使用のタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

コントロールパネルを閉じます。

ラジアルメニューの設定をカスタマイズするには、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」機能も利用することができます。「ペン」または「タッチパネル」を選択すると、これらの設定をカスタマイズできます。

各タブには、選択した入力デバイスに対してカスタマイズ可能な設定が表示されます。

タブレットとタブレットドライバに関する情報が記載されたダイアログを表示します。「診断」ダイアログボックスにもアクセスできます。

「オプション」ダイアログを表示します。

選択したタブの設定を標準設定に戻します。

ユーザズガイド(本書)を表示します。

コントロールパネルのほとんどの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させるとヒントがすぐにポップアップします。

さらに、キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。





コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、ファンクション、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- タブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。

[複数タブレットの設置](#)も参照してください。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」、「ペン」および「タッチパネル」のアイコンが表示されます。

補足： タブレット上で初めて電子ペンを使用すると、電子ペンは自動的に「入力デバイス」リストに加えられ、標準設定で機能します。

詳細は、[電子ペンのカスタマイズ](#)を参照してください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアにのみ適用する「入力デバイス」設定を定義できます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)を参照してください。

補足： 「アプリケーション」リストは操作に慣れたユーザ用です。お使いの電子ペンをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。



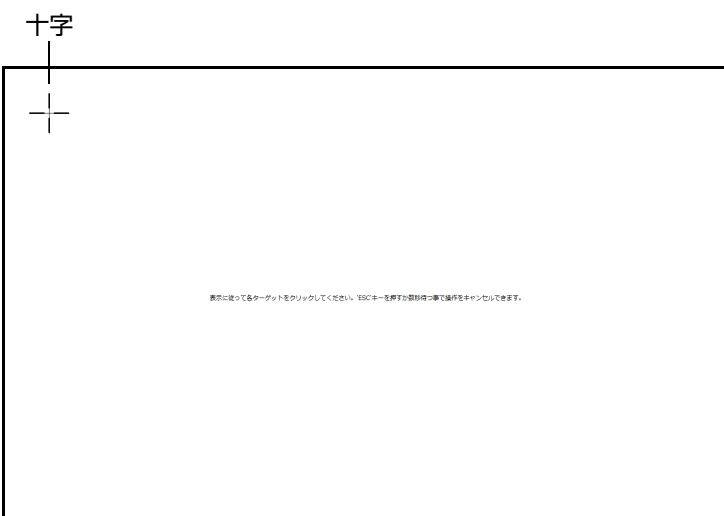
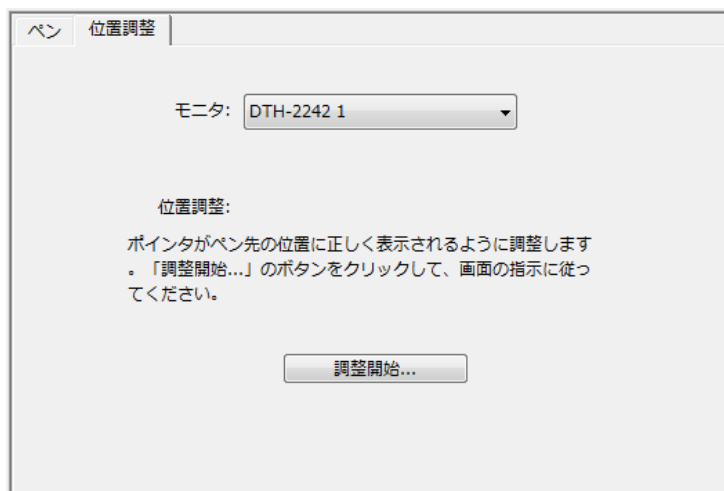


ペン先の位置調整

ポインタとペン先の位置を合わせる場合は、ペン先の位置調整を行う必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

重要： アナログ RGB で接続している場合は、位置調整をする前に「オートアジャスト」を行ってください。操作手順は[画面の調整](#)をご覧ください。

1. コントロールパネルを開きます。
コンピュータに複数のタブレットを接続している場合は、位置調整をするタブレットを「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄で本機を選んでください。（コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。）
4. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 電子ペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢を保ちます。続いて左上の十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 続いて右上→左下→右下の順に十字マークの中心をクリックします。
7. 画面上のいくつかの異なる点にペン先を置いて、位置合わせのテストを行います。位置調整が正しければ「OK」をクリックします。再度位置調整をする場合は「再試行」をクリックします。



ヒント： ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。





電子ペンのカスタマイズ

電子ペンのカスタマイズは簡単に行うことができます。最初に電子ペンでコントロールパネルを開き、「入力デバイス」リストから「ペン」を選ぶと、その内容に応じてタブが表示されます。タブを選択し、使用可能なオプションを設定します。

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)

[ペン先の筆圧の詳細設定](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

ペン先の感触とダブルクリックの調整

「ペン」タブを選択します。

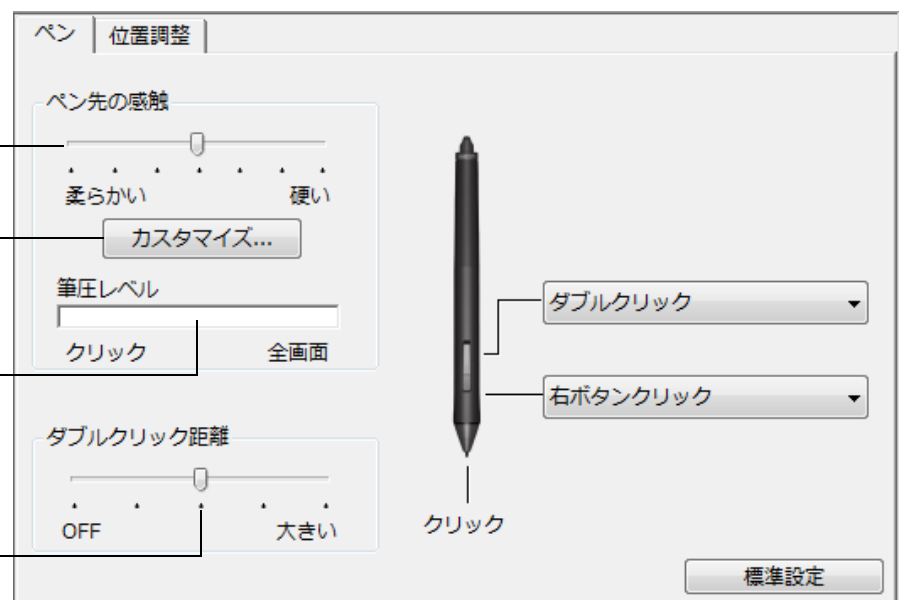
クリックしたり線を描いたりする際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

太い線を書きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を書きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズできる「[ペン先の感触の詳細設定](#)」ダイアログボックスを表示します。

画面上の空領域にポインタを置き、ペン先で画面を押して、設定した「ペン先の感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「ペン先の感触」をスライダで調整します。

ダブルクリックする領域の大きさを調整します。[ダブルクリックアシスト](#)を作動しないようにするには、スライダをOFFの位置へドラッグします。



ヒント:

- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
- ダブルクリック: ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲(ダブルクリック距離)を大きくします。
- グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れるため、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。

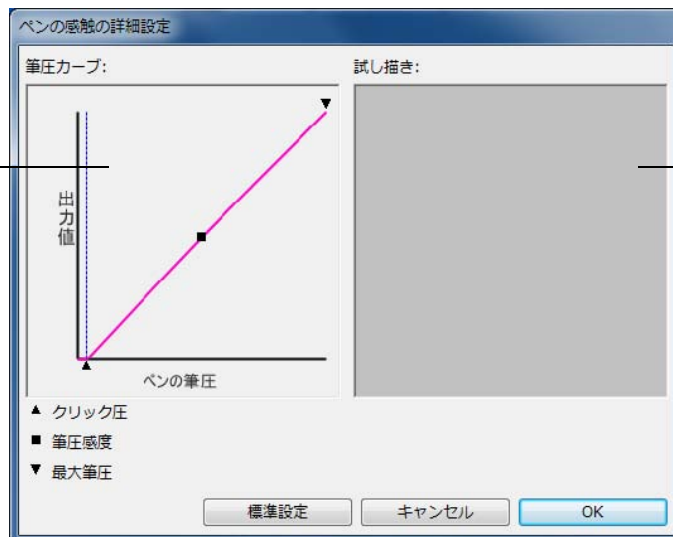




ペン先の筆圧の詳細設定

ペン先の筆圧を設定する場合、「ペン」タブを選択し、「カスタマイズ ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先の筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

「筆圧カーブ」は、選択した「筆圧感度」の曲線と「クリック圧」の設定を図で示したものです。急激な増加を表す曲線は、電子ペンの感度が高いことを示します。



ペン先を使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

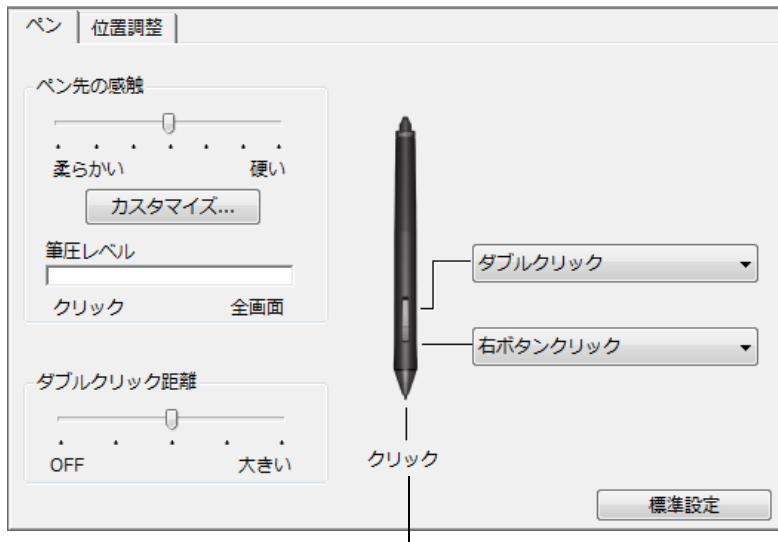




サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択します。

補足： 製品によっては、サイドスイッチがない場合もあります。



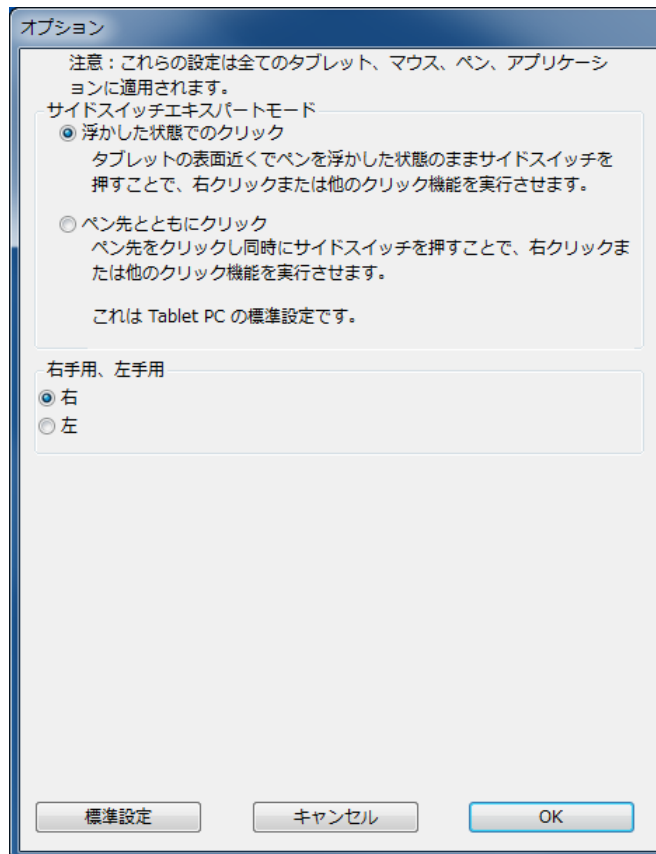
画面に触れずにペン先を画面から5 mm以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択して、サイドスイッチが自動的にダブルクリックになるように設定します。

ペン先に割り当てた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」で、クリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。コントロールパネル下部の「オプション ...」ボタンをクリックして、「オプション」ダイアログを表示してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先をタブレット面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、サイドスイッチを押しながらペン先で画面に触れると、クリック機能が実行されます。「ペン先とともにクリック」は正確な位置でのクリックが可能で、タブレット PC の標準設定です。
- 「右手用、左手用」では、右利きか左利きかを選択します。





ファンクションキーをカスタマイズする

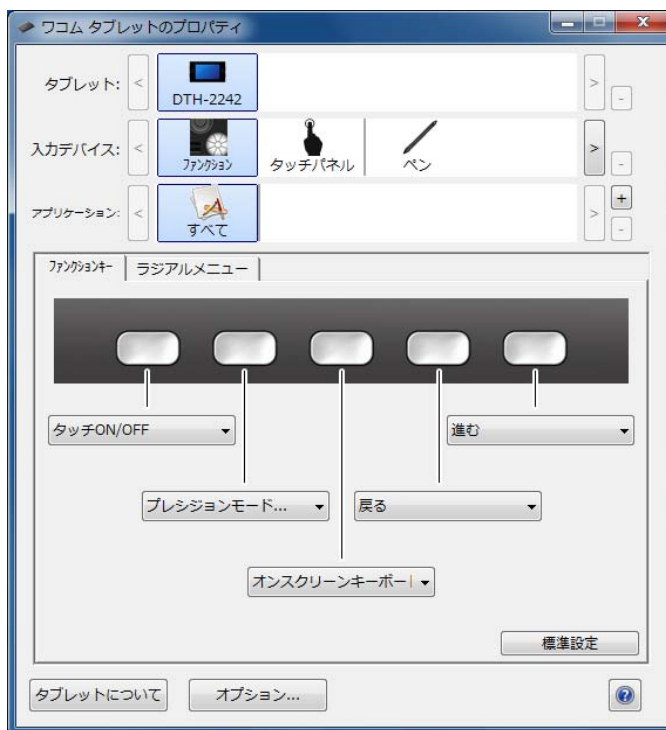
ファンクションキーをカスタマイズするときは、「ファンクションキー」タブを選びます。修飾キー、キーストローク、その他の機能を各キーに割り当てることができます。

補足： 画面は DTH-2242 の標準設定です。

各ファンクションキーを押したときに実行する機能を、ドロップダウンメニューで選択します。ファンクションキーは、[特定のソフトウェア](#)ごとに設定することができます。

詳しくは[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

重要： ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがファンクションキーの機能を制御する場合があります。





ラジアルメニューの使い方と設定

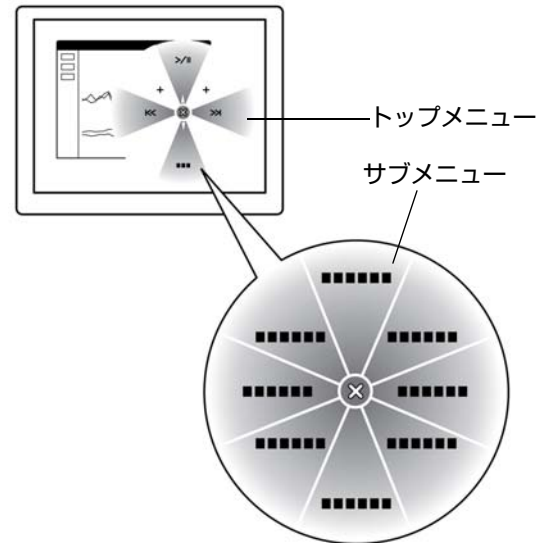
ラジアルメニューはポップアップメニューです。ラジアルメニューを表示するには、ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに「ラジアルメニュー」を設定します。デバイスボタンを押すと、カーソルの位置にラジアルメニューが表示されます。

- 階層構造を持つラジアルメニューが円形で表示されます。メニューの各レベルは、8つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。

ラジアルメニュー内でメニュー項目をクリックし、利用可能なオプションを選ぶことができます。項目によってはサブメニューが表示され、さらにオプションを選ぶことができます。

補足： ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。

- 機能を選択せずにメニューを終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。メニュー表示に使ったデバイスボタンを再度押してもメニューを終了することができます。
- ラジアルメニューを開くデバイスボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブでラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

- メニュー項目を選択します。
- 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。「表示名」でメニュー名を変更することもできます。
- カスタマイズするメニューまたはサブメニューを選択します。
- カスタマイズするメニュー項目を選択します。
- 割り当てる機能を選択します。





ボタン機能

ペン、サイドスイッチ、ファンクションキー、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。ここに示すオプションは、一部の機種で利用できないことがあります。

機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずデバイスボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたき代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	スイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンを押すことに相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンを押すことに相当します。
キーストローク	キーストロークを割り当てできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。 1つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせで「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー (Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー) を組み合わせることができます。 「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。 キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

重要： [Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Macintosh) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

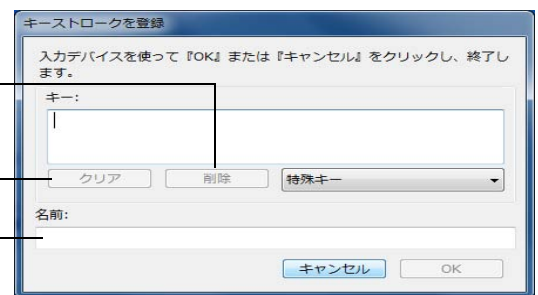
ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については [特定のソフトウェアに対する設定](#) をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。

定義したキーストロークの名前を入力することができます。



ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。





機能名	内容
修飾キー	修飾キー (Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー)、またはマウスクリックを割り当てできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

1 つ以上のキーオプションを選択します。該当する「クリック」ボックスをチェックすると、サイドスイッチを押したときマウスの左、中、右のいずれかのクリックが実行されます。



ラジアルメニュー	画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
----------	------------------------------------------------------------------

戻る ブラウザで「戻る」機能を実行します。

進む ブラウザで「進む」機能を実行します。

スクロール / 移動 (ペンのみ)	「スクロール / 移動」に設定されたデバイスボタンを押して、本機の操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

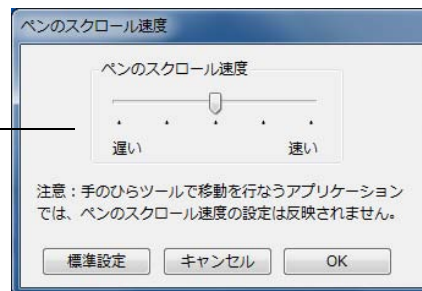
「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。

設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。

電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。

目的位置までスクロールまたは移動させたら、デバイスボタンを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。

あるソフトウェアでは、文書はペン先の動きにつれて正確にポインタに追従しますが、別のソフトウェアでは文書はポインタと同じ方向に移動するのみです。

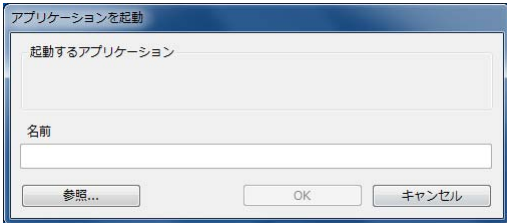


デスクトップを表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
-----------	-----------------------------------

タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows 8、Windows 7、Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------





機能名	内容
開く / 起動 ...	<p>ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。</p> <p>「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「起動するアプリケーション」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。</p>  <p>ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。デバイスボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。</p> <p>ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。</p>
タッチ ON/OFF	<p>DTH-2242でのみ利用できます。「タッチ ON/OFF」は、入力デバイスの作業中に電子ペンのみを使いたい場合に便利です。</p> <p>「タッチ ON/OFF」を割り当てたファンクションキーを押すことによって、一時的にマルチタッチ入力を無効にします。マルチタッチを有効にするには、再度このファンクションキーを押します。ファンクションキーをカスタマイズするをご覧ください。</p>
Ink 文字認識 ON/OFF	<p>(Macintosh) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。</p>
オンスクリーンキーボード	<p>ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。再度押すと、キーボードは閉じます。</p>
Exposé	<p>(Macintosh) : 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。</p>
筆圧一定	<p>デバイスボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にデバイスボタンを押すと、デバイスボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。</p>
プレジジョンモード	<p>現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。電子ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを放すと、通常のマッピングに戻ります。</p> <p>電子ペンが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。</p> <p>ヒント : マルチディスプレイ環境で「マッピング画面切り替え」機能を使って、他のディスプレイが電子ペンで操作できる場合にお使いください。</p>
マッピング画面切り替え	<p>マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。選択によって、本機を液晶ペンタブレットとして使用したり (ポインタの位置はペン先)、あるいは標準のワコムタブレットとして使用する (ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる) ことができます。マッピング画面切り替えを使うを参照してください。</p>





機能名

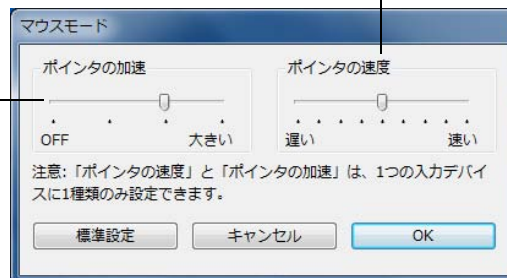
内容

ペン⇄マウスモード

[ペンモード](#)と[マウスモード](#)を切り替えます。デバイスボタンに「ペン⇄マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。

マウスモードではポインタの速度を設定します。

マウスモードではポインタの加速を設定します。



「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。

タブレット PC

- Tablet PC 入力パネル (Windows 8, Starterを除く Windows 7、あるいは Home Basicを除く Windows Vista)
この機能に設定したデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
- Windows Journal (Windows 8, Starterを除く Windows 7、あるいは Home Basicを除く Windows Vista)
Microsoft Journal を開きます。
- Tablet PC の設定に従う (Windows 8, Starterを除く Windows 7、あるいは Home Basicを除く Windows Vista)
以下に示す設定に従ってデバイスボタン機能を設定します。
 - Windows 7 および Vista の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネル

無効

デバイスボタン機能を無効にします。

アプリケーションの設定に従う

ソフトウェアにデバイスボタンの数の情報を送ります。この機能は、組み込みサポートを搭載した GAD プログラムなどのソフトウェア用です。

標準設定

デバイスボタンを標準設定に戻します。





マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機の画面上で電子ペンを使いながら、システム上の任意のディスプレイでポインタを操作することができます。ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、デバイスボタンを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイで切り替えることができます。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

本機がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」を選択し「マッピング画面切り替え」を割り当てたデバイスボタンを押すと、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。デバイスボタンをもう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定しデバイスボタンを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。他のディスプレイが複数あるときは、デバイスボタンを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に最初のディスプレイに戻ります。



重要：「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンがあるかを確認してください。

「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。指定すると赤色のインジケータが更新され、選んだ範囲を表示します。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。
- 選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、タブレットの操作エリアを 15.2 x 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、タブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。





特定のソフトウェアに対する設定

使用する電子ペンは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対してペンの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、ソフトウェアすべてに電子ペンの設定を適用します。以下の例では、「ペン」に特定のソフトウェアに対する設定が行われていません。そのため「すべて」アイコンが表示され、「ペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。
- 特定のソフトウェアに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「ペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した電子ペンとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)



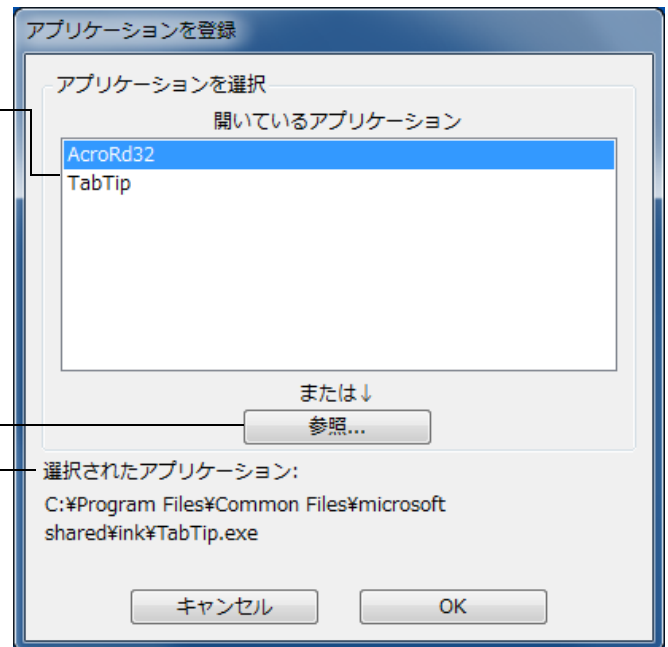


特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成するタブレットと電子ペンを選択します。次に「アプリケーション」リストの「+」ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

ソフトウェアを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



「選択されたアプリケーション」欄に、選択したソフトウェアの名称が表示されます。

補足： 2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に電子ペンと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント： 任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより電子ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。





特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、作成済みのペンの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：電子ペンから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、「ペン」は標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。





トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. 本機が正常に作動しない場合は、トラブルシューティング情報をご覧ください。[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)や[タブレットのトラブルシューティング情報](#)も合わせてご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. ワコムのホームページにある「よくあるご質問と回答：FAQ」をご覧ください。
<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/index.html>
4. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、最新版のタブレットドライバのダウンロードをご検討ください。ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。
5. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポート情報については、[テクニカルサポート](#)と「Read Me」ファイルをご覧ください。

[本機のテスト](#)

[電子ペンのテスト](#)

[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)

[タブレットのトラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)





本機のテスト

1. 本機のパワーランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。

- AC アダプタのランプが点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、電源ケーブルが AC アダプタとコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
- AC アダプタのケーブルが本機に正しく接続され、電源スイッチがオンになっていることをご確認ください。電源がオンになっているときは、パワーランプがオレンジ色または青色に点灯します。

重要： 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外をご使用になると、本機が破損する場合があります。

2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。

- コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、パワーランプは青色に点灯します。ビデオ信号の入力がない、またはコンピュータが省電力状態の場合には、パワーランプはオレンジ色に点灯します。
- 本機が有効な DVI またはアナログ RGB コネクタに接続されていることをご確認ください。
- お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。

3. 本機の画面上で電子ペンが正常に使えることを確認してください。

- ペン先を画面に押し当て、ステータスランプが青色に点灯することをご確認ください。
- ステータスランプが点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。
- 接続中の USB ポートが有効であることをご確認ください。USB ポートが有効かどうかを確認するときはご使用のシステムの BIOS 設定の確認を行ってください。
- 本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てるとランプは青色に点灯します。

4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。

- ペン先を画面に押し当てて、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
- 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
- 以上のテストでステータスランプが青色に点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
- 詳細は、[電子ペンのテスト](#)を参照してください。

症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。





電子ペンのテスト

電子ペンが思う通りに動作しない場合は、サイドスイッチに割り当てた機能を確認する、または電子ペンの設定をリセットすることをお勧めします。電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックして、リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンのペン先を本機の画面に近づけると、「ペン」が標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。「診断」ダイアログボックスには本機に関する情報が表示されます。この情報を利用して本機とご使用中の電子ペンをテストします。

システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄でテスト中のタブレットを選択してください。

補足： サイドスイッチをテストする場合、サイドスイッチに「ラジアルメニュー」または「開く / 起動」が割り当てられていると、サイドスイッチを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にサイドスイッチの機能を変更してください。

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」が表示されます。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押すと、本機のステータスランプが青色に点灯します。
 - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100%まで変化します）。
 - タブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。電子ペンの両方のサイドスイッチに対して行ってください。

ペン先 = 1、サイドスイッチ（下側） = 2、サイドスイッチ（上側） = 3

4. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。





ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。カラーの問題については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

[ディスプレイの一般の問題](#)

[アナログ RGB 接続の問題](#)

ディスプレイの一般の問題

画像が表示されない。パワーランプが点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源スイッチがオンになっているかをご確認ください。
画像が表示されない。パワーランプは青色で点灯する。	コンピュータ、および本機の電源を切り、ケーブルやアダプタが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルやアダプタを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。
パワーランプがオレンジ色に点灯し、「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 コンピュータ、および本機の電源を切り、DVI-DVI（または DVI-RGB）ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 グラフィックボードが正しく装着されているかをご確認ください。
「out of range」というメッセージがディスプレイ画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。本機のリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。シングルディスプレイ環境の場合、リフレッシュレートを変更するためには、別のディスプレイを接続する必要があります。 解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。





- 画像が二重、三重に表示される。 ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用したりすると、映像信号が劣化して画像が二重、三重に表示される場合があります。ご使用が原因で発生している場合は、ケーブルの延長や分配器の使用はお控えください。
ディスプレイケーブルの接続を確認してください。
-
- 同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。 残像は時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをお勧めします。
-
- 色の具合がおかしい。
- OSDメニューを開き、「カラー設定」から色温度を変更してみてください。
 - ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることをご確認ください。
 - コンピュータおよび本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がったり、コネクタピンが破損していないかご確認ください。
 - OSDメニューを開き、「リセット」から「初期設定に戻す」を選択します。
 - カラープロファイルをインストールしている場合、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェア用のカラープロファイルとして選択されていることを確認してください。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)
 - コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、少しずつ行ってください。
-
- 白色がきれいに表示されない。
- カラープロファイルをインストールしている場合、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェア用のカラープロファイルとして選択されていることを確認してください。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)
 - 画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
 - ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。





アナログ RGB 接続の問題

画面に波のような模様やちらつきが出る。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。
- コンピュータのディスプレイアダプタまたはグラフィックボードが本機の仕様に合っているかを確認してください。
- 画面のプロパティのコントロールパネルでリフレッシュレートを調整してください。
- ディスプレイケーブルの接続を確認してください。

表示が不鮮明。
画面上のテキストや他の部分がぼやけている。

- コンピュータの解像度を本機で利用可能な解像度に設定します。詳細は、[製品情報](#)を参照してください。
- いったん本機の電源をオフにし、再度オンにします。
- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。

画面の表示位置がずれている。表示サイズが適正でない。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。入力信号やグラフィックボードによっては、適正なサイズで表示されない場合がありますのでご注意ください。

画面に波、縦縞、色むらが出る。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。問題が解決しない場合は、「リセット」から「初期設定に戻す」オプションを選択し、画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。

表示が二重、三重になる。

- ディスプレイケーブルが、確実にコネクタに接続されているか確認してください。
- ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。

画面が暗い。

- OSDメニューを開き、明るさとバックライト輝度を調整します。





タブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。

より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。 <http://tablet.wacom.co.jp/support/>

一般的な問題

本機のUSBハブに接続したUSBデバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. タブレットの USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 2. 本機の電源がオンで、パワーランプが青く点灯していることを確認してください。本機の USB ポートは、電源が切れていると機能しません。 3. コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。 4. 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカーにお問い合わせください。
パワーランプが点灯しない。	<p>本機の電源がオンになっていることを確認してください。</p> <p>AC アダプタが本機とコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。</p> <p>必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。</p>
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	<p>タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。</p> <p>タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。</p> <p>タブレットドライバがインストールされていない場合は、本書の本機のセットアップを参考にタブレットドライバをインストールしてください。</p>
筆圧機能が使えない。	<p>ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。</p> <p>お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。</p> <p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。ペンで画面をタッチし、筆圧レベルのインジケータが筆圧に応じて上下するか確認してください。</p>
クリックが利かない。	<p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。</p> <p>「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。</p>
電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	<p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。</p> <p>「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。</p> <p>電子ペンの芯の抜き差しをしてください。正常に戻らない場合は、電子ペンのテストを参照してください。</p>
ダブルクリックが利かない。	<p>画面の操作エリア内の同じ場所をすばやく2度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。</p> <p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。</p> <p>Windows の場合：1回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。クリックを参照してください。</p>





ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。 ペン先の感触とダブルクリックの調整 を参照してください。
ペン先を強く押さなければ、クリックや書き込みができない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。 ペン先の感触とダブルクリックの調整 を参照してください。
ペン先が利かない。	必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。 コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。 ペン先を押したとき、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。青色に点灯しない場合、USB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているか確認してください。 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。 トラブルシューティング を参照してください。
ペン先とポインタがずれる。	コントロールパネルを開き、「調整開始...」を選択します。 ペン先の位置調整 を参照してください。
電子ペンの機能設定を変更しても反映されない。	使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。 特定のソフトウェアに対する設定 を参照してください。
電子ペンのサイドスイッチが利かない。	必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 ペン先が画面の操作エリアから 5 mm 以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。 コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。 サイドスイッチを押すと、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。 点灯しない場合、USB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているか確認してください。 以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。 トラブルシューティング を参照してください。
ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。	コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動し 本機のセットアップ 説明を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。(Macintoshの場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。) 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。





マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。

コントロールパネルを開き、ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに[マッピング画面切り替え](#)を設定してください。その設定をしたデバイスボタンを押すことによって、操作できるディスプレイを切り換えることができます。

マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、サイドスイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。

描いた線とポインタの位置が合わない。

電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。

ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows または Macintosh のトラブルシューティング指示に従って、新しい環境設定ファイルを作成してください。([Windows での問題](#)、 [Macintosh での問題](#) を参照してください。)

コンピュータが省電力状態にならない。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。

マウスまたはトラックボールの使用時、ポインタが急に引き戻される。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上ではなく、本機のペンホルダーに収納するか、あるいは本機から下ろして本機の近くに置いてください。電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。

コンピュータに別のタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。

別のタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなることがあります。この現象が起こったら、本機と別のタブレットを離してください。

ソフトウェアを使用しているとき、ファンクションキーがコントロールパネルの設定と違う機能で動作する。

特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。





マルチタッチの問題



マルチタッチができない。

「タッチ ON/OFF」に設定されているファンクションキーを押してタッチを有効にします。

あるいは、コントロールパネルを開いて「タッチパネル」アイコンをクリックしてから「ジェスチャーの標準設定」、「ジェスチャーの個別設定」、または「タッチオプション」タブを選択します。「タッチ入力を有効にする」オプションが選択されていることを確認してください。

マルチタッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な動作やジェスチャーは機能しない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、基本的なタッチ操作のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。

複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。

指同士が近づきすぎている場合、液晶ペンタブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。

Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。

回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90 度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、ペンタブレットの故障によるものではありません。

このジェスチャーをペンタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに 25 mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。





Windows での問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。

Windows 8 の場合：Windows 8 のスタート画面で「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。クラシックデスクトップ使用時は、キーボードで Windows キーを押すかチャームバーで Windows アイコンを選択してスタート画面を開きます。

Windows 7、Vista、XP の場合：「スタート」アイコンをクリックして「すべてのプログラム」を選択し、「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 以下の手順でタブレットの設定を削除します。

シングルユーザの場合：「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。

マルチユーザの場合：「全てのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。

「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元 ...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。

設定ファイルのバックアップと復元については、[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。





Macintosh での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、またはタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

起動時に、本機が認識されませんでした。USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のパワーランプが点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイル」(10.8 の場合は「システム情報」) を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ワコム USB タブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。

問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。[テクニカルサポート](#)を参照してください。

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。

- 以下の手順でタブレット設定を削除します。

シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

ユーティリティ内の「復元...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。

補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、また「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除します。

再度、ポインタの位置調整をします。





Ink が、本機で正しく動作しない。 Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。
 - com.apple.ink.framework.plist
 - com.apple.ink.inkpad.plist
 - com.apple.ink.inkpad.sketch
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。
4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。

この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。





テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の[本機のセットアップ](#)をご覧ください、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次に[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

ワコムのホームページの製品 FAQ（よくあるご質問と回答）をチェックしていただくか、ワコムのホームページの「サポート」または「お問い合わせ」のページからご連絡ください。

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。[ドライバのダウンロード](#)を参照してください。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先については、[Wacom international offices](#)を参照してください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、本機およびコンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか





ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新しています。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

タブレットドライバダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download>





付録

この章では本機のお手入れのしかた、タブレットドライバのアンインストール方法、ライセンスと保証などについて説明します。

[本機のお手入れ](#)

[ペン先を交換する](#)

[マウントアームに取り付けて使う](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[タブレット設定ファイルの管理](#)

[複数タブレットの設置](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク機能](#)

[Windows Tablet PC 入力パネルについて](#)

[製品情報](#)

[製品仕様](#)

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

本機と電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。

室温が最適です。

本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要： 本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面、ファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

本機や電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となりますのでご注意ください。





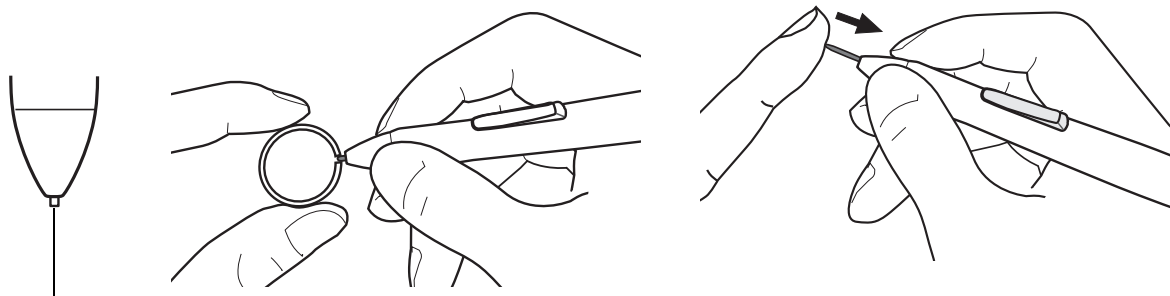
ペン先を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れがありますので、ペン先が短くなりすぎたり、先端が鋭くなってきたら、専用の交換用の芯と交換してください。

本機用の替え芯（FUZ-A010）は、販売店またはワコムストアでご購入いただけます。

古いペン先の芯を付属の芯抜き、ピンセットなどで挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。

新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



1 mm 以下になったら、ペン先を交換します。

⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

重要： 電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、または机の上に横にして置いてください。ペンホルダーへのペンの挿入、または取り外しの際は、ペン先を傷つけないように注意してください。ペン先の感度を維持するため、市販のペンスタンドなどペン先が押された状態になる容器には入れないでください。





マウントアームに取り付けて使う

本機をマウントアームに取り付けて使いたいときは、本体からスタンドを取り外し、市販のVESA規格のマウントアームに取り付けて使います（VESA: Video Electronics Standard Association）。

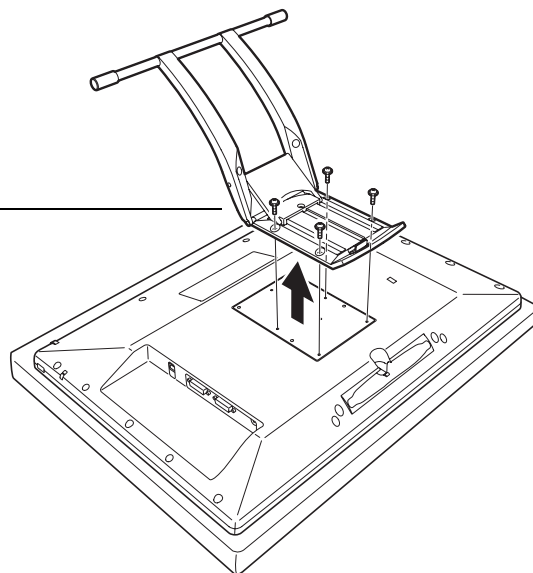
必ず規格に準拠したマウントアームをお使いください。

本機のネジ穴の間隔は、100 mm ピッチです。

幅 4 mm、ピッチ 0.7 mm（M4 レギュラー）、脚部 15 mm のネジを別途ご用意ください。脚部の長さが 15 mm を超えると、本体に取り付けたときに内部の部品を傷つけ故障の原因となることがありますので、必ず確認の上お使いください。

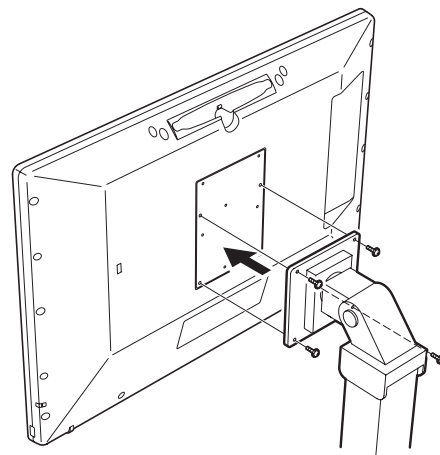
本機をスタンドから取り外し、マウントアームに取り付けます。

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにし、すべてのケーブルを本機とコンピュータから取り外します。
2. 液晶画面を保護するため、平らな台に柔らかい布を敷き、画面を下にして本機を置きます。
3. スタンドの 4 本のネジを取り外し、スタンドを持ち上げて液晶ペンタブレット本体から取り外します。
4. マウントアーム取り付け用のネジで、本機をマウントアームにしっかりと取り付けます。
5. [本機のセットアップ](#)を参照し、再度ケーブルを取り付けます。



⚠ 注意

液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされると、本機が倒れて破損やけがの原因となることがあります。取り外したスタンドやネジは、なくさないように保管してください。





タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機とタブレットドライバをシステムから削除することができます。

Windows 8 の場合：

1. Windows 8 のスタート画面の左下隅で右クリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。クラシックデスクトップ使用時は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択してスタート画面を開きます。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

Windows 7、Vista、XP の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選びます。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

補足： アンインストールを完了させるためにコンピュータの再起動を求められることがあります。

Macintosh の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックし、「タブレットドライバ：削除」を選択して、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。





タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。

Windows 8 の場合： Windows 8 のスタート画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。クラシックデスクトップ使用時は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択してスタート画面を開きます。

Windows 7、Vista、XP の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューで「すべてのプログラム」を選びます。
2. 「ワコム」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」と選択します。

「ワコム タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログの説明（Windows の場合）

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「全てのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Macintosh の場合は、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。





複数タブレットの設置

「タブレット」リストには、システムで検出された、サポートされているタブレットのアイコンが表示されます。設定を変更するタブレットをここから選択します。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。



新しいタブレットを追加する場合は、タブレットをコンピュータに接続します。システムは USB ポートに接続されたタブレットを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化され、「タブレット」リストにそのペンタブレットのアイコンを表示します。

ドライバから複数あるタブレットのうちの1つを削除するには、コントロールパネルで、削除するタブレットのアイコンを選択し、「タブレット」リストの隣の [-] ボタンをクリックします。

- サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- タブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

重要： 他のタブレットを本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、離してお使いください。





Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 8、Windows 7、および Windows Vista では、ペン入力に対応しています。Windows 8、Windows 7（Starter を除く）および Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータと本機を組み合わせることでペン入力機能を最大限に活用することができます。さらに Windows 8、Windows 7、および Windows Vista、Office、そして本機を組み合わせることで、効果的な書類作成やプレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書きメモ帳機能** Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。ペン、マーカー、ハイライトツール、消しゴムなど便利なデジタル機能を備え、Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。もちろん筆圧機能もサポートしています。
- **手書き文字認識機能** Windows 8、Windows 7、および Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、タブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。Tablet PC 入力パネルの使い方については、[Windows Tablet PC 入力パネルについて](#)をご覧ください。
- **ジェスチャー機能** タブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータ操作を可能にする「ペンフリック」機能を備えています。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。カスタマイズするときは、「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選びます。素早く利用できるように、各ソフトウェアのクイックアクセスツールバーに特定のインクツールを追加することができます。
- **Office 2007 デジタルインク機能** 「2007 Microsoft Office system」またはそれ以降のバージョン（OS：Windows 8/Windows 7/Vista）での各ソフトウェア（Word・Excel・PowerPoint・Outlook）では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

補足： ワコムタブレットドライバでは、Windows 8、Windows 7、および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- パフォーマンスを向上させるため、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド機能」は、Photoshop のような幾つかのグラフィックソフトでは無効になります。
- 描画ソフトによっては、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして Windows Journal や他のインク機能で描画する場合に、筆圧が無効になる場合があります。

* デジタルインク機能は、Windows 8、Windows 7 Starter 以外の Windows 7 の全エディション、Windows Vista Home Basic 以外の Windows Vista の全エディションでサポートされています。





Windows Tablet PC 入力パネルについて

Windows 7 または Vista の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、「入力パネルオプション」ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows および Office については、システムおよび Microsoft Office に付属の資料をご覧ください。





製品情報

筆圧、傾きなどの本機の機能をサポートするソフトウェアや、Windows での[デジタルインク](#)機能については、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://wacom.jp/>

製品仕様

DTK-2241、DTH-2242 液晶ペンタブレットの仕様は、タブレットドライバ CD-ROM に同梱されている「製品に関する重要なお知らせ」に含まれています。

ライセンス／保証

DTK-2241、DTH-2242 液晶ペンタブレットのライセンス / 保証条件および適合規格は、タブレットドライバ CD-ROM に同梱されている「製品に関する重要なお知らせ」に含まれています。

オプション品の注文

本機の機能を最大限に使いこなすためにオプション品をご用意しております。

オプション品の情報はワコムホームページにも掲載しております。

<http://wacom.jp/>

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

<http://store.wacom.jp/>





用語

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

修飾キー：Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では、[shift]、[control]、[command]、[option] キーの修飾キーがあります。ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

操作エリア：電子ペンが検出されるタブレットの描画領域。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするとき、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度：ダブルクリックの1回目と2回目のクリックの時間間隔の設定。遅くするとペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先の特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。[マウスモード](#)もご覧ください。





マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。ペン先をタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対的な位置決めです。[ペンモード](#)もご覧ください。

マウス速度：ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

読取可能高さ：ペン先が検出されるタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、ファンクションキー、または電子ペンのサイドスイッチに機能を割り当てる必要があります。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルのことで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版で、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。ペンタブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。





索引

数字			
1:1	23		
D			
DC 電源入力端子	8		
DVI-I 出力コネクタ	8		
DVI-I 入力コネクタ	8		
E			
EXIT	24		
F			
FAQ	67		
O			
OSD コントロール	7		
OSD メニュー言語設定	23		
OSD メニュー表示設定	23		
U			
USB ポート	8		
W			
Windows Tablet PC 入力パネル	76		
あ			
明るさ	23		
アナログ RGB 接続の問題	59		
い			
色温度	23		
え			
液晶ペンタブレット			
お手入れ・保管	69		
各部の名称			
本体裏面	8		
本体正面	7		
テスト	55		
お			
オートアジャスト	24		
か			
角度を調整する	9		
カスタマイズ			
サイドスイッチ	43		
ダブルクリック	41		
電子ペン	41		
筆圧	42		
ファンクションキー	44		
ペン先の感触	41		
マルチタッチ	32		
ラジアルメニュー	45		
画像設定	24		
画面を調整する	23		
		カラー設定	23
き		機能	
		液晶ペンタブレット	7
		コントロールパネル	38
く			
		クリック (ペン)	20
こ			
		コントラスト	23
		コントロールパネル	37
さ			
		サイドスイッチ	10
		サイドスイッチのカスタマイズ	43
し			
		視差	40
		省電力機能	36
		芯の交換	70
す			
		垂直位置	23, 24
		水平位置	23, 24
		スタンド	8, 71
		スタンド調整レバー	8
		スタンドの角度調整	9
		ステータスランプ	7
せ			
		セキュリティロック・スロット	8
		設定	
		コントロールパネル	37
		特定のソフトウェア	51
		セットアップ	
		ディスプレイ	12
		ペンタブレット	16
		全画面	23
た			
		ダイレクト	23
		縦横比	23, 50
		縦横比を保持	50
		ダブルクリック	20
		ダブルクリックのカスタマイズ	41
		タブレット	
		お手入れ・保管	69
		各部の名称	7
		本体裏面	8
		本体正面	7
		機能	7
		テスト	55





タブレット設定ファイルの管理	73	ペンホルダー	8
タブレットドライバ		ほ	
アンインストール	72	ポインタの位置決め	19
インストール	17	ボタン機能	46
ダウンロード	68	本書の使い方	5
て		ま	
テクニカルサポート	67	マウントアーム	71
デジタルインク機能	75	マッピング画面	50
テスト		マッピング画面切り替え	50
液晶ペンタブレット	55	マルチタッチ入力	
電子ペン	56	カスタマイズ	32
電源スイッチ	7	基本機能	26
電子ペン	10	ソフトウェア特有の機能	27
と		テスト	35
透明度	23	ワコム固有の機能	31
特定のソフトウェア	51	マルチディスプレイ	22
ドライバのダウンロード	68	ゆ	
ドラッグ	20	ユーザー設定	23
トラブルシューティング		よ	
タブレット		読み取り高さ	56
Macintosh での問題	65	ら	
Windows での問題	64	ラジアルメニュー	45
一般的な問題	60	り	
ディスプレイ		リセット	24
アナログ RGB の問題	59		
ディスプレイの一般の問題	57		
は			
バックライト輝度	23		
パワーランプ	7		
ひ			
筆圧	21		
筆圧を使って書く	21		
ピッチ	24		
表示サイズ設定	23		
表示設定	23		
ふ			
ファンクションキー	21		
フェーズ	24		
へ			
ペン			
カスタマイズ	41		
クリック	20		
サイドスイッチを使う	21		
ダブルクリック	20		
ドラッグ	20		
筆圧を使って描画する	21		
ペン先	10		
交換	70		
ペン紛失防止ケーブル取り付け穴	8		





このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5337-6514

修理依頼

受付 No. _____

発信	年	月	日
----	---	---	---

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL	()	FAX	()	

タブレット	型式	DTK-2241/DTH-2242		シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン : _____				
	購入年月日	年	月	日		
使用環境	使用コンピューター	メーカー :	機種名 :			
			使用 OS	(バージョン : _____)		
	使用ソフトウェア	(バージョン : _____)				
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート	
		他の USB 機器				
		USB ハブ				
		ディスプレイ				
グラフィックボード						
その他						
内容	現象発生日	年	月	日		
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : _____)				

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。





Wacom international offices

株式会社ワコム タブレット営業本部

〒 160-6131
 東京都新宿区西新宿 8-17-1
 住友不動産新宿グランドタワー 31 階
 インターネット : <http://wacom.jp/>
 ワコムサポートセンター
 電話 : 0570-05-6000
 受付時間 平日 9:00 ~ 20:00
 土曜 10:00 ~ 17:00
 (日曜、祝日、および年末年始など
 弊社指定休日を除く)

Wacom Technology Corporation

1311 SE Cardinal Court
 Vancouver, WA 98683
 U.S.A.
 Telephone
 General: +1-360-896-9833
 Fax: +1-360-896-9724

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
 No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
 Beijing, China 100022
<http://www.wacom.com.cn>

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
 2-8 South Street, Rydalmere
 NSW 2116 Australia
 Telephone
 General: +61-2-9422-6700
 Fax: +61-2-9420-2272

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

9F-1, No.237 Songjiang Rd.,
 Zhongshan Dist. Taipei 104
 Taiwan
 Telephone: +886-2-2516-1718
 Fax: +886-2-2516-5100

Wacom India Pvt. Ltd.

2nd Floor, Elegance Tower
 District Centre, Mathura Road
 New Delhi 110025, India
 Telephone: +91-11-40601200
 Fax: +91-11-40601235

Wacom Co., Ltd. ASIA PACIFIC DIVISION

Asia Pacific Office
 Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F,
 8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-6131,
 Japan
 Telephone
 General: +81-3-5337-6709
 Fax: +81-3-5337-6514

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9,
 47807 Krefeld,
 Germany
 Telephone
 General: +49-(0)2151-3614-0
 Fax: +49-(0)2151-3614-111

Wacom Korea Co., Ltd.

Rm #1211, 12F, KGIT Sangam Center,
 402 worldcup bukro, Mapo-gu,
 Seoul 121-913, Korea
 Telephone: +82-2-557-3894
 Fax: +82-2-557-3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

#12-09 Suntec Tower Five
 5 Temasek Boulevard,
 Singapore 038985
 Telephone
 General: +65-6258-8640
 Fax: +65-6258-8697

Wacom Hong Kong Limited

Room 2105, C C Wu Building
 302-308 Hennessy Road
 Wanchai, Hong Kong
 Telephone: +852-25739322
 Fax: +852-25739500

